

日本・英国・韓国 Open University 図書館調査報告

Open University of Japan, UK Open University and Korean National Open University library Research Report

日本・英国・韓国 오픈 유니버시티 도서관 조사보고



日本・英国・韓国 Open University 図書館調査報告

Open University of Japan, UK Open University and Korean
National Open University library Research Report

日本・英国・韓国 오픈 유니버시티 도서관 조사보고

放 送 大 学

The Open University of Japan

日本・英国・韓国 Open University 図書館調査報告書

— 目 次 —

第1部	日本・英国・韓国 Open University 図書館調査報告概要	1
	英語の概要：Summary in English (영어개요)	6
	韓国語の概要：한국어 개요 (Summary in Korean)	14
第2部	日本・英国・韓国 Open University の概要	19
	1. 目的	19
	2. 大学の沿革	20
	3. 教育システム	21
	4. 学生の種類と学生数	22
	5. 大学の組織	25
第3部	日本・英国・韓国 Open University 図書館の現状と課題	27
	1. 現状	
	1) 概要	27
	2) 沿革	28
	3) 本部（中央）図書館の利用	30
	4) 本部図書館の利用状況	33
	5) 学習センター図書室の利用	35
	6) 利用者サービス	37
	7) 施設・設備	43
	8) 組織と職員数	46
	9) 運営費（図書、雑誌、電子ジャーナル、施設管理費など）	51
	10) 電子ジャーナルとデータベースの利用と管理	54
	11) 教材（図書、雑誌以外：ビデオ、CD, DVDなど）の 種類とオンラインによる教材の提供方法	59
	12) 教材の保存方法	60
	13) 資料（学位論文、大学の発行物など）の電子化の状況	61
	14) その他	62
	2. 問題と課題	64
第4部	新たな展開に向けた提言	67
	1. 電子図書館への移行による図書館機能の充実	67
	2. 新しい管理とサービス	67
	3. 本学関係資料のアーカイブ化	68
	4. 図書館としての国際化への対応	68
第5部	参考資料	69
	調査写真等	

第 1 部 調査報告概要

日本・英国・韓国 Open University 図書館調査報告概要

Open University of Japan, UK Open University and Korean
National Open University library Research Report

日本・英国・韓国 오픈 유니버시티 도서관 조사보고

第
1
部

第1部 日本・英国・韓国 Open University 図書館調査報告概要(日本語・英語・韓国語)

I 調査概要

1. 目的

インターネット時代の到来によって、電子化された情報へのニーズが高まり、大学図書館のあり方が変化している。特に学生が特定のキャンパスに集まることを前提にしていないオープンユニバーシティでは、どのような図書・情報へのニーズがあり、各大学はどのような対応をしているのであろうか。質量共に高い水準をもつ英国と韓国のオープンユニバーシティの図書館調査を実施し、日本の状況と比較することによって、放送大学図書館の今後の指針とする。

2. 方法と内容

- 1) インターネット及び既存の資料からイギリスと韓国のオープンユニバーシティの図書館及び図書・情報サービスの実態を調べる。
- 2) 現地調査で下記の項目についての資料収集とヒアリングをおこなう。
 - ① 図書館の管理運営状況(規模、財政、組織、職員数等)
 - ② 図書・情報サービスの現状(特に遠隔地への対応等)
 - ③ 図書館が抱えている問題点と課題について
 - ・ 電子化への対応
 - ・ 学習環境、教育研究環境の整備と図書館が提供するサービス
 - ・ 図書館の空間、財政、人事等に関する中・長期計画
- 3) 上記の調査結果を踏まえて、本学の状況との比較分析及び考察をおこなう。



(UKOU 図書館)

3. ヒアリング対象機関

UK OU (英) 2009. 9. 28~10. 1 <ul style="list-style-type: none"> ● 英国オープンユニバーシティ図書館及び本部 ● ロンドン地域センター ● Milton Keynes Library ● Kensington Central Reference Library 	KNOU (韓) 2009. 11. 5~7 <ul style="list-style-type: none"> ● 韓国放送通信大学図書館及び本部 ● 京畿地域大学 ● 城南市学習センター
--	--

4. 調査者


UK OU 調査 <ul style="list-style-type: none"> ● 附属図書館(松村 祥子、三浦 正克) ● (同行者) 連携教育課 森本 龍 	KNOU 調査 <ul style="list-style-type: none"> ● 附属図書館(松村 祥子、山本 淳一) ● (同行者) 教務課 中島 万裕子
--	---

5. 調査所見

UK OU 英国オープンユニバーシティは、20万人の学生を有し、5000人のスタッフ、8000人のチューター(非常勤)で運営されている。本部の他、13の地域センターと300以上のスタディセンターがある。本学図書館より多少大きい図書館に100人以上のスタッフ(40%は司書資格有)が配置されており、包括的な Research Data Management がおこなわれている。電子化、インターネットの活用により徹底した合理化が図られ、質の高い教育を提供する為に図書館が大きな役割を果たしていることが分かった。	KNOU 韓国放送通信大学は18万人を超える学生に対してテレビ、マルチメディア、インターネット等を活用した授業を行っている。本部の他、14の地域大学と33のスタディセンターを有している。 現在の中央図書館は放送大学と同規模であるが、2013年には新築移転も計画されている。地域大学やスタディセンターの図書室との連携もダイナミックにおこなわれており、多くの示唆を得た。
---	---

II 日・英・韓の比較（抜粋）

	基礎データ	大学の概要	学科構成	学部学生の年齢構成
OUJ (日)	人口：1億2700万人 大学進学率：55.9% インターネットユーザー： 74%（全人口比）	設立：1981年 学生数： 学部 79,056人 大学院 5,913人 職員数： 専任教員 94人 本部 425人 学習センター 507人 非常勤教員 2,272人	(教養学部コース) ・生活と福祉 ・心理と教育 ・社会と産業 ・人間と文化 ・自然と環境 (文化科学研究科) ・生活健康科学 ・人間発達科学 ・臨床心理学 ・社会経営科学 ・文化情報学 ・自然環境科学	10代 5.2% 20代 15.2% 30代 25.0% 40代 23.1% 50代 16.5% 60代 15.0% 男性 43.6% 女性 56.4%
UK OU (英)	人口：6077万人 大学進学率：62.6% インターネットユーザー： 69%（全人口比）	設立：1969年 学生数： 学部 169,000人 大学院 16,600人 職員数： 教員 1,253人 教務補助員 1,786人 事務職員 1,910人 チューター 7,982人	(学部) ・法学部 ・芸術学部 ・数学コンピューティングテクノロジー学部 ・科学部 ・社会科学部 ・健康社会ケア学部 (大学院) ・教育・語学研究所 ・教育技術研究所 ・知識メディア研究所 ・市民権・アイデンティティ・統治センター ・比較犯罪学国際センター ・コンピューティング研究センター ・地球・惑星・宇宙・天文学センター	25歳未満 14% 25～34歳 29% 35～44歳 30% 45～54歳 17% 55～64歳 8% 65歳以上 3% 男性 39% 女性 61%
KNOU (韓)	人口：4952万人 大学進学率：109.8% インターネットユーザー： 70%（全人口比）	設立：1972年 学生数： 学部 180,000人 大学院 790人 職員数： 教員 201人 一般公務員 229人 期成会の職員 440人	(学部) ・人文科学部 ・社会科学部 ・自然科学部 ・教育科学部 (大学院) ・実用英語学科 ・行政学科 ・経営学科 ・家政学科 ・コンピュータ科学学科 ・看護学科 ・生涯教育学科 ・幼児教育学科 ・eラーニング学科	20歳以下 0.8% 21～30歳 33.3% 31～40歳 41.3% 41～50歳 19.1% 51～60歳 4.8% 61歳以上 0.7% 男性 32.7% 女性 67.3%

	大学の運営経費	図書館の運営経費	図書館の業務体制
OUJ (日)	(予算) ー収入ー ・授業料収入 61 億 4600 万円 ・国庫補助金 78 億 6200 万円 ・他収入 6 億 100 万円 合計 146 億 900 万円	(図書・学術雑誌購入予算) ・本部図書館 3965 万円 ・学習センター図書館 3132 万円 合計 7097 万 7000 円 (全体の 0.5%) (★電子資料 2500 タイトル 396 万円)	(教育支援部図書情報課) ・館長・課長・課長補佐 ・管理係 ・情報管理係 ・情報サービス係 (職員数) 本部 14 名 + 学習センター 図書係 (司書資格保持者 10 名) (図書数) 本部 31 万冊 学習センター 43 万 5 千冊 合計 75 万 5 千冊
UK OU (英)	(2007 年) ー収入ー ・補助金 473 億 7600 万円 ・授業料 270 億 4800 万円 ・研究資金 30 億 2400 万円 ・その他の収入 45 億 1500 万円 ・寄附金 22 億 2600 万円 合計 841 億 8900 万円	(図書館情報費) 図書館費用総計 13 億 1435 万円 (全体の 1.5%) (内、図書情報費用 4 億 9725 万円) (全体の 0.6%) (★電子資料 15000 タイトル 1 億 732 万円)	(図書館) ・カスタマーサービス部 ・情報知識管理部 ・図書館学習・教授サービス部 ・ビジネスサービス部 ・ビジネス開発部 ・戦略的サービス開発部 (職員数) 112 名 (司書資格保持者 40%) (図書数) 本部 21 万冊
KNOU (韓)	—  (KNOU 歴史館)	(図書情報予算) ・中央図書館 1 億 4293 万円 ・地域大学 3799 万円 合計 1 億 8092 万円 (全体の 1%) (★電子資料 5000 タイトル 2080 万円)	(中央図書館) ・情報運営系 ・資料整理系 ・情報管理系 (職員数) 中央図書館 15 名 + 学生ボ ランティア (司書資格保持者 100%) 地域大学 63 名 (図書数) 本部 21 万 5 千冊 地域大学 38 万 5 千冊 学習センター 21 万 5 千冊 合計 81 万 5 千冊

(2008/2009)

III 教育・研究システムの中での図書館機能（別紙の図参照）

日・英・韓のオープンユニバーシティの教育・研究システムには、共通点と相違点がある。共通点としては、従来型大学教育より、広範で多種類の教材を多様な方法で提供していることである。また、3大学共、国の生涯学習の中核的な機関として、高等教育の内容と方法における先導的役割が期待されており、財政・人材についての公的支援割合が大きい。相違点としては挙げられることは、教育・研究組織がOUJ(日)では分業型、UK-OU(英)では協業型、KNOUでは分業・連携型になっていることである。その中で各図書館には次のような特色が見られる。

(OUJ 図書館)

- 学生、教員、事務職員、学習センターの個々のニーズに対応して業務を遂行している。
- ・ 多様な方法での図書情報サービス提供（電子資料、印刷図書雑誌、教材等）
- ・ カウンター窓口による face to face の参考調査
- ・ 学習センターの図書室への図書配架及び電子システム等の指導・管理
- ・ 教員の研究支援（図書雑誌の購入、研究年報の発行等）
- ・ 学生の学習・研究支援（参考図書貸出、図書雑誌コピー、他図書館からの借出、自宅への宅配等）

(UK-OU 図書館)

- 電子図書館として、ウェブ上の教材提供、図書雑誌の閲覧、研究推進をおこなっている。
- ・ 13年前より電子化された図書情報サービスに特化する方針
- ・ インターネット、電話などによる24時間対応の参考調査
- ・ 教材開発、情報伝達の技術方法の試行、UKOU固有の資料管理等の業務
- ・ 教員・研究員・事務職員・大学院生との協業体制



(UKOU 雑誌閲覧コーナー)

(KNOU 図書館)

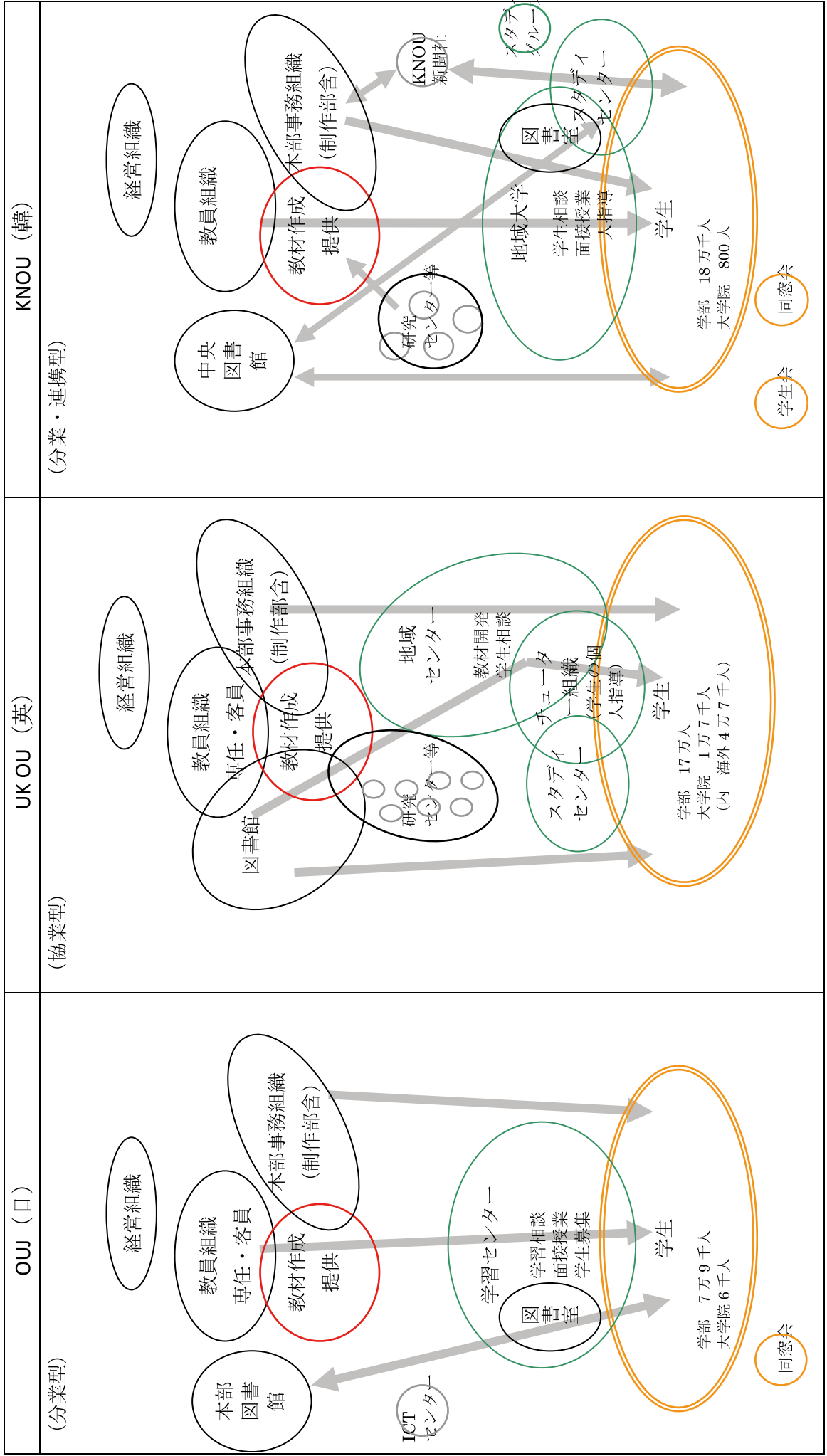
- 中央図書館と地域大学図書館の強い連携の下で、学生、教員、事務職員を支援している。
- ・ 本部・地域大学図書職員体制の整備（含人事異動）
- ・ どこで借りてもどこでも返せる返却システム等
- ・ 歴史資料館の拡充

IV 放送大学図書館の今後の課題

- 1) 図書館の電子化の推進（大学全体の情報基盤構築との係わりの中で）
参考：－ 3ヶ国の電子ジャーナルタイトル数と支出額
－ e-bookの普及状況
－ 学生のコンピュータ活用能力
- 2) 学生と教職員へのサービスの改善
－ 教材開発へ参加
－ 図書情報の活用推進
- 3) 本部図書館と学習センター図書室の連携・協力
- 4) 教材の保存・管理の新方策
- 5) アーカイブの創設と充実（本学関係、海外OU関係資料）
- 6) 遠隔教育大学図書館の日本型先進モデルの構築
－ 学びのコミュニティをどうつくるか
－ 他大学とのネットワーク化



～大学組織図～



Open University of Japan, UK Open University and Korean National Open University library Research Report

I Summary

1. Purposes

With the popularisation of the Internet and increased demands for computerised information, university libraries are now encouraged to change. Especially at open universities, where students are not expected to come to a particular campus, what kind of resources and information are required and how do open universities respond to demands from staff and students? We conducted research on the UK Open University (UKOU) library and the Korean National Open University (KNOU) library, which have high standards both on quality and on quantity, to find out how we can improve the Open University of Japan (OUJ) library in comparison with situations of these universities.

2. Subjects and methods

- 1) To find the current circumstances of UKOU and KNOU through the online information and the existing resources.
- 2) To collect further materials related to library operation and to conduct interviews with related personnel at the universities in question, focusing on the following topics.
 - ① Current situation of library management (scale, finance, organisation, number of staff etc)
 - ② Current situation of library and information services (especially on how to provide services to students based on remote locations)
 - ③ Problems and challenges
 - Computerisation of resources
 - Learning environment, maintenance of education and research environment, services provided by libraries
 - Medium and long-term plans on library space, finance and human resources



(UKOU Library)

- 3) To compare and analyse the situation of OUJ with the result of the research above.

3. Surveyed universities

UK OU (UK) 9/28/2009-1/10/2009 <ul style="list-style-type: none"> • UK OU Library and Head Office • Open University London (regional centre in London) • Milton Keynes Library • Kensington Central Reference Library 	KNOU (Korea) 5/11/2009-7/11/2009 <ul style="list-style-type: none"> • Korean National Open University Library and Head Office • Kyunggi Regional Campus • Seongnam Study Centre
---	--

4. Research personnel

UK OU Research <ul style="list-style-type: none"> • OUJ Library (Sachiko Matsumura, Masakatsu Miura) • (Attendant) Ryo Morimoto from Cooperation and alliance unit 	KNOU Research <ul style="list-style-type: none"> • OUJ Library (Sachiko Matsumura, Junichi Yamamoto) • (Attendant) Mayuko Nakajima from Administrative unit
--	---


5. Research remarks

<p>UK OU</p> <p>UK Open University has more than 200,000 students, 5000 staff, and 8000 tutors in the head office in Milton Keynes, 13 regional centres and more than 200 study centres. The UK OU library is slightly bigger than OJ library, but it has more than 100 staff (40% is librarian) to conduct comprehensive research data management. Computerising resources and using internet, UK OU library is playing an important role to provide rationalised high-quality education internationally.</p>	<p>KNOU</p> <p>Korean National Open University provides wide range of courses to more than 180,000 students through television, internet and other media. Other than the head office, its operation extended to 14 regional campuses and 33 study centres. Although the current central library is almost same scale as OJ library, it is planned to build a new library on a different site by 2013. KNOU's cooperation with regional campuses and study centres is very dynamic.</p>
---	---

II Comparison among OIJ, UKOU and KNOU

	Basic Data of Country	University Outline	Courses	Undergraduate students' Age distribution
OIJ (Japan)	<p>Population: 127,000,000</p> <p>University advancement rate: 55.9%</p> <p>Internet user: 74% (to the total population)</p>	<p>Established in 1981</p> <p>Number of students Undergrad: 79,056 Postgrad: 5,913</p> <p>Number of Staff Full-time: 94 Head Office: 425 Leaning Centre: 507 Part-time lecturers: 2,272</p>	<p>(Liberal Arts Courses)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Living and welfare • Psychology and education • Society and industry • Humanities and culture • Nature and environment <p>(School of Graduate Studies)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Human Life and Health Science • Science of Human Development and Education • Clinical Psychology • Social Governance • Arts and Information Science • Natural and Environmental Sciences 	<p>Teen 5.2%</p> <p>20's 15.2%</p> <p>30's 25.0%</p> <p>40's 23.1%</p> <p>50's 16.5%</p> <p>60's 15.0%</p> <p>Male 43.6%</p> <p>Female 56.4%</p>
UKOU (UK)	<p>Population: 60,770,000</p> <p>University advancement rate: 62.6%</p> <p>Internet user: 69% (to the total population)</p>	<p>Established in 1969</p> <p>Number of students Undergrad: 169,000 Postgrad: 16,600</p> <p>Number of staff Salaried academic staff: 1,253 Associate lecturer: 1,786 Admin staff: 1,910 Tutor: 7,982</p>	<p>(Under graduate)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Law • Art • Mathematics and computing technology • Science • Social science • Health and Social care <p>(Graduate School)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Education and Language Studies • Institute of Educational Technology • Knowledge Media Institute • Centre for Citizenship, Identities and Governance • International Centre for Comparative Criminological 	<p>Under 25 14%</p> <p>25~34 29%</p> <p>35~44 30%</p> <p>45~54 17%</p> <p>55~64 8%</p> <p>Over 65 3%</p> <p>Male 39%</p> <p>Female 61%</p>

			<ul style="list-style-type: none"> Research • Computing Research Centre • Centre for Research in Education and Educational Technology • Centre for Earth, Planetary, Space and Astronomical Research 	
KNOU (Korea)	<p>Population: 49,520,000</p> <p>University advancement rate: 109.8%</p> <p>Internet user: 70% (to the total population)</p>	<p>Established in 1972</p> <p>Number of students: Undergrad: 180,000 Postgrad: 790</p> <p>Number of staff Academic staff: 201 Public officers: 229 Keseiksai staff: 440</p>	<p>(Under graduate)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Humanity • Sociology • Natural Science • Education <p>(Postgraduate)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Practical English Language • Civil Services and Management • Domestic Science • Computing science • Nursing • Life-long Education • Infant Education • e-Learning 	<p>Under 20 0.8%</p> <p>21~30 33.3%</p> <p>31~40 41.3%</p> <p>41~50 19.1%</p> <p>51~60 4.8%</p> <p>Over 61 0.7%</p> <p>Male 32.7%</p> <p>Female 67.3%</p>
	University Operating Budget	Library Operating Budget	Library Working System	
OUJ	<p>(Budget)</p> <p>— Revenue —</p> <ul style="list-style-type: none"> • Course fee 6,146,000,000 Yen • Governmental subsidy 7,862,000,000 Yen • Other 601,000,000 Yen <p>Total 14,609,000,000 Yen</p>	<p>(Books and academic periodicals purchase budget)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Head office library 39,650,000 Yen • Learning centre library 31,320,000 Yen <p>Total 70,977,000 Yen</p> <p>(0.5% of total)</p> <p>(*Electric resources 2500 titles 3960,000 Yen)</p>	<p>(Educational support, library and information unit)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Director • Manager • Assistant Manager • Management • Information management • Information Services <p>(Number of staff) Head office 14 staff + Learning Centre Library staff (10 Librarians)</p> <p>(Number of items) Head office 310,000 items Learning Centre 435,000 items</p> <p>Total 755,000</p>	

<p>UK OU</p>	<p>(2007) — Revenue — • Subsidy 47,376,000,000 Yen • Course fee 27,048,000,000 Yen • Research fund 3,024,000,000 Yen • Other 4,515,000,000 Yen • Donated fund 2,226,000,000 Yen <u>Total 84,189,000,000 Yen</u></p>	<p>(Library information expenditure) Total library expenditure 1314350000 Yen (1.5% of total) (Books and information expenditure 497250000 Yen) (0.6% of total) (*Electric resources 15000 titles 107,320,000 Yen)</p>	<p>(Library) • Customer services • Information and Knowledge Management • Library Learning and Teaching Services • Business Services • Business Development • Strategic and Service Development (Number of staff) 112 staff (40% are librarians) (Number of items) Head Office 210000 items</p>
<p>KNOU</p>	<p>—</p>  <p>(KNOU History Museum)</p>	<p>(Library information budget) • Central Library 142,930,000 Yen • Regional Campuses 37,990,000 Yen <u>Total 180,920,000 Yen</u> (1% of total) (*Electric resources 5000 titles 20800000 Yen)</p>	<p>(Central Library) • Information management • Resource arrangement • Information maintenance (Number of staff) Central Library 15 staff + student volunteers (100% are librarians) Regional campuses 63 staff (Number of items) Head Office 215,000 items Regional Campuses 385,000 items Study Centres 215,000 items <u>Total 815,000 items</u></p>

(2008/2009)

III Library Function in the Education and Research Systems

(Please refer to a separate sheet on tables)

We found similarities and differences in education and research systems of OIJ, UKOU and KNOU. A similarity is that all three universities provide a wider range and more variety of course materials than traditional universities. Also, as a central organisation of nation's life-long learning, expected to play a leading role on the contents and methodology of higher education, all three universities rely on a big proportion of national support for finance and human resources. For differences, we can explain with reference to different models these universities are taking: OIJ as labour division model, UKOU as collaborative model, and KNOU as labour division/cooperative model. The remarkable features of each model are as follows.

(OIJ Library)

- Operation in response to demands from students, academic staff, admin staff, learning centres.
- Provision of library information services through a variety of methods (Electric resources, print periodicals, course materials etc)
- Face-to face reference research at the help desk
- Distribution of resources to learning centre libraries and guidance and maintenance of electric systems
- Research support for academic staff (purchasing library periodicals, issuing annual research report etc)
- Learning and research support for students (reference library loan, library periodical photocopy service, library loan from other libraries, resource delivery to home etc)

(UKOU Library)

- Provision of online course materials, gateway to books and periodicals and research enhancement as an electric library
- Plan to specialise in electric library information services since 13 years ago.
- 24 hours reference services through internet and telephone
- Course material development, information delivery skill improvement, UKOU's original materials, maintenance work etc
- Collaborative working system of academic staff, admin staff and research students



(UKOU periodicals reading space)

(KNOU Library)

- Support for students, academic staff, and admin staff under the strong cooperation between central library and regional campus libraries
- Maintenance of human resources at the head office and regional campus libraries including staff change
- Library loan return system: you can return an item at any libraries
- Expansion of history museum

IV OIJ Library's challenges for the future

- 1) Further computerisation of library(in relation to the university's information base Construction)

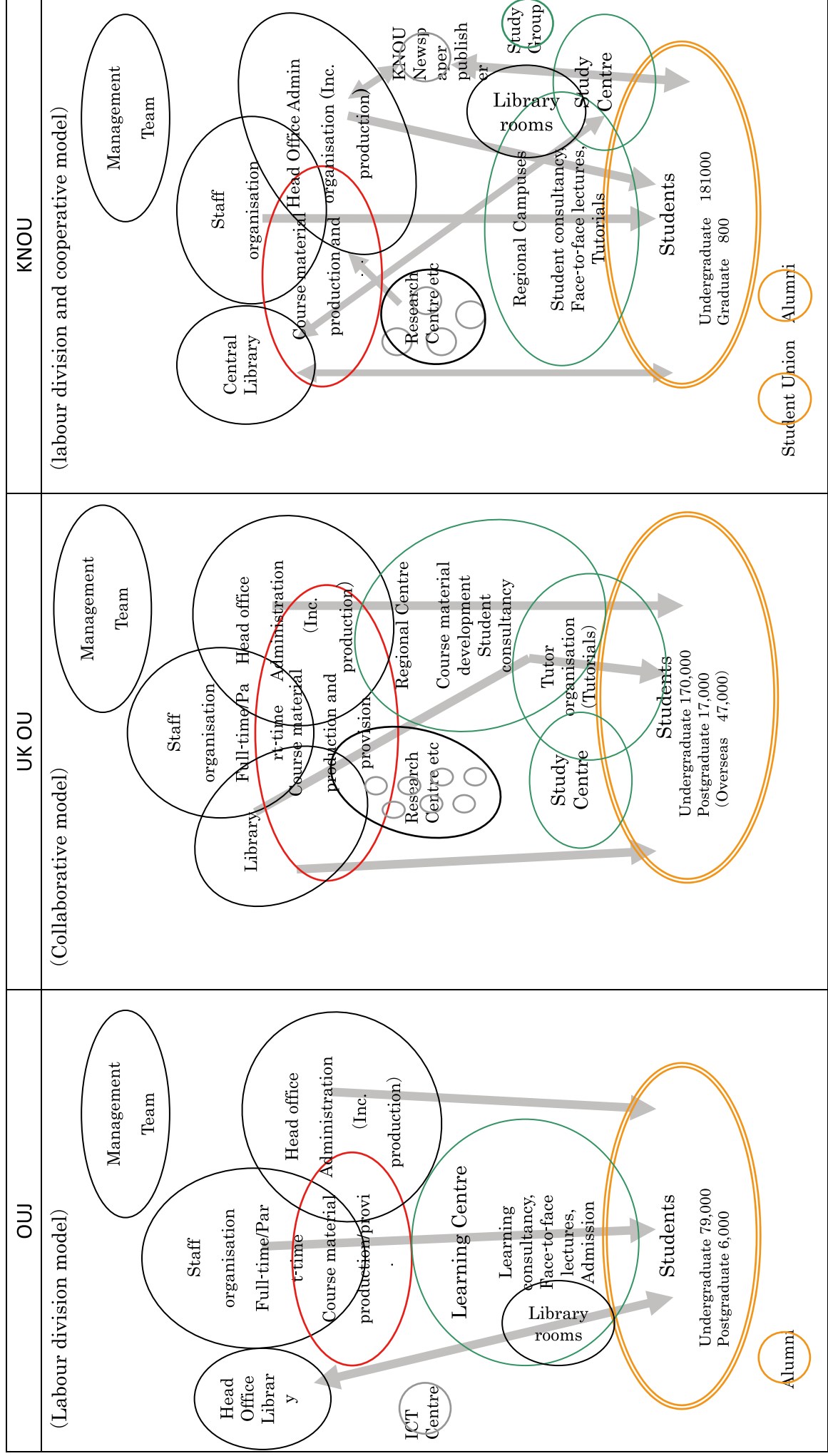
Reference : The number of the three universities' electric journal titles and its Expenditure

- e-books popularising situation
- student's computer literacy

- 2) Improvement for student and staff services
 - Participation in course material development
 - Enhanced utilisation of library information
- 3) Collaboration and cooperation between central library and learning centre libraries
- 4) New strategy for conservation and maintenance of course materials
- 5) To establish and enrich archives
(resources related to OIJ and other OUs in overseas)
- 6) To construct the Japanese leading model for remote education university libraries
 - How to create community of learning
 - Networking with other universities



University Organisation Chart



日本・英国・韓国 오픈 유니버시티 도서관 조사보고

I 조사개요

1. 목적

인터넷시대의 도래에 의해, 전자화정보에의 수요가 높아짐과 동시에 대학도서관자체의 내외부적 모습또한 변화가 이루어지고 있다. 특히 학생이 특정의 캠퍼스에 모이는것을 전제하지않는 오픈 유니버시티는, 어떠한 도서·정보 수요가 있는지, 각대학은 어떠한가 그러한 수요에 대응하는지에 대한 조사는 의미있는 사항이 될수있겠다. 질과 양적인 측면 모두 높은 수준의 영국과 한국의 오픈 유니버시티의 도서관조사를 실시하여, 일본의 상황과 비교하므로써, 방송대학도서관의 향후지침을 얻고자 한다.

2. 방법및 내용

- 1) 인터넷 및 기존의 자료를 통해 영국과 한국의 오픈유니버시티의 도서관, 도서·정보서비스의 실태를 조사함.
- 2) 현지조사를 통해 아래항목에 대한 자료수집및 인터뷰를 실시함.
 - ① 도서관의 관리운영상황 (규모, 재정, 조직, 교직원수 등)
 - ② 도서·정보서비스의 현상 (특히 원격지에의 대응 등)
 - ③ 도서관이 안고있는 문제점과 과제에 대해
 - 전자화에의 대응
 - 학습환경, 교육연구환경의 정비및 도서관이 제공하는 서비스
 - 도서관의 공간, 재정, 인사등에 관한 중·장기계획
- 3) 상기의 조사결과에 더불어, 본학의 상황및 비교분석,고찰을 실시함.



(UKOU 도서관)

3. 인터뷰 대상 기관

UK OU (英) 2009.9.28~10.1 <ul style="list-style-type: none"> ● 국오픈유니버시티 도서관및 본부 ● 런던 지역센터 ● Milton Keynes Library ● Kensington Central Reference Library 	KNOU (韓) 2009.11.5~7 <ul style="list-style-type: none"> ● 한국방송 통신대학 도서관및 본부 ● 경기 지역대학 ● 성남시 학습센터
--	--

4. 조사자


UK OU 조사 <ul style="list-style-type: none"> ● 부속도서관 (마츠무라 요우코, 미우라 마사카츠) ● (동행자)연계교육과 모리모토 류우 	KNOU 조사 <ul style="list-style-type: none"> ● 부속도서관 (마츠무라 요우코, 야마모토 준이치) ● (동행자) 교무과 마카지마 마유코
---	---

5. 조사소견

UK OU 영국오픈유니버시티는 20 만학생으로, 5000 명의 스태프수, 8000 명의 튜터 (비상근) 로 운영되고있습. 본부이외 13 지역센터,300 이상의 스터디센터가 존재. 본학도서관보다 다소 큰규모의 도서관에 100 인이상의 스태프 (40%는 사서자격자) 이 배치되어있어, 포괄적인 Research Data Management 가 실시되고 있습. 전자와,인터넷활용에의한 철저한 합리화가 추구되어, 질높은 교육을 제공하기위해서 도서관이 큰역할을 담당하고 있는점을 알수있었습.	KNOU 한국방송통신대학은 18 만인을 넘는 학생에 대하여 텔레비전,멀티미디어,인터넷등을 활용한 수업을 진행하고 있습. 본부이외 14 지역대학및 33 스터디센터를 보유하고 있습. 현재의 중앙도서관은 방송대학과 같은 규모이나, 2013 년에는 다시 신축이전이 계획되고있습. 지역대학이나 스터디센터의 도실과의 연계도 다이나믹하게 이루어지고 있으며 운영관리면을 비롯한 도서관역할자체에 있어서도 많은 참고점과 시사점을 얻을수 있었습.
--	---

II 日・英・韓의 비교

	기초데이터	대학의개요	학과구성	학부학생의 연령구성
OUJ (日)	인구 : 1억 2700 만인 대학진학율:55.9% 인터넷유저 : 74% (전인구대비)	설립 : 1981 년 학생수 : 학부 79, 056 인 대학원 5, 913 인 직원수 : 전임교원 94 인 본부 425 인 학습센터 507 인 비상근교원 2, 272 인	(교양학부 코스) · 생활및 복지 · 심리및 교육 · 사회및 산업 · 인간및 문화 · 자연과 환경 (문화과학연구과) · 생활보건과학 · 인간발달과학 · 임상심리학 · 사회경영과학 · 문화정보학 · 자연환경과학	10 대 5.2% 20 대 15.2% 30 대 25.0% 40 대 25.0% 50 대 23.1% 60 대 15.0% 남성 43.6% 여성 56.4%
UK OU (英)	인구 : 6077 만인 대학진학율:62.6% 인터넷 유저 : 69% (전인구대비)	설립 : 1969 년 학생수 : 학부 169, 000 인 대학원 16, 600 인 교원수 : 교원연구원 1, 253 인 교무보조원 1, 786 인 사무직원 1, 910 인 튜터 7, 982 인	(학부) · 법학부 · 예술학부 · 수학컴퓨팅 · 테크놀로지학부 · 과학부 · 사회과학부 · 건강사회케어학 · 부 (대학원) · 교육·어학연구소 · 교육기술연구소 · 지식메이머연구 · 소 · 시민권 · · 아이덴티티 · 종합연구소 · 비교범죄학연구 · 국제 · 센터 · 컴퓨팅연구센터 · 지구 · 혹성 · · 우주·천문학센터	25 세미만 14% 25~34 세 29% 35~44 세 30% 45~54 세 17% 55~64 세 8% 65 세이상 3% 남성 39% 여성 61%
KNOU (韓)	인구 : 4952 만인 대학진학율 : 109. 8% 인터넷 유저 : 70% (전인구대비)	설립 : 1972 년 학생수 : 학부 180, 000 인 대학원 790 인 교원수 : 교원 201 인 일반공무원 229 인 기성회(期成會) 의교원 440 인	(학부) · 인문과학부 · 사회과학부 · 자연과학부 · 교육과학부 (대학원) · 실용영어학과 · 행정학과 · 경영학과 · 가정학과 · 컴퓨터과학과 · 간호학과 · 생애교육학과 · 유아교육학과 · e 러닝 학과	20 세이하 0.8% 21~30 세 33.3% 31~40 세 41.3% 41~50 세 19.1% 51~60 세 4.8% 61 세이상 0.7% 남성 32.7% 여성 67.3%

	대학의 운영경비	도서관의 운영경비	도서관의 업무체제
OUJ (日)	<p>(예산) -수입-</p> <ul style="list-style-type: none"> • 수업료수입 61억 4600만엔 • 국고보조금 78억 6200만엔 • 타수입 6억 100만엔 <p>합계 146억 900만엔</p>	<p>(도서·학술잡지구입예산) • 본부도서과 3965만엔 • 학습센터도서관 3132만엔</p> <p>합계 7097만 7000엔 (전체의 0.5%)</p> <p>(★전자자료 2500타이틀 396만엔)</p>	<p>(교육지원부도서정보과) • 관장·과장·과장보좌 • 관리계 • 정보관리계 • 정보서비스계</p> <p>(직원수) 본부 14명 + 학습센터도서계 (사서자격보유자 10명)</p> <hr/> <p>(도서수) 본부 31만부 학습센터 43만 5천부</p> <p>합계 75만 5천부</p>
UK OU (英)	<p>(2007년) -수입-</p> <ul style="list-style-type: none"> • 보조금 473억 7600만엔 • 수업료 270억 4800만엔 • 연구자금 30억 2400만엔 • 기타수입 45억 1500만엔 • 기부금 22억 2600만엔 <p>합계 841억 8900만엔</p>	<p>(도서관정보비) 도서관비용총계 13억 1435만엔 (전체의 1.5%) (그중, 도서정보비용 4억 9725만엔) (전체의 0.6%)</p> <p>(★전자자료 15000타이틀 1억 732만엔)</p>	<p>(도서관) • 커스토머서비스부 • 정보지식관리부 • 도서관학습·교수서비스부 • 비즈니스서비스부 • 비즈니스개발부 • 전략적서비스개발부</p> <p>(직원수) 112명 (사서자격보유자 40%)</p> <hr/> <p>(도서수) 본부 21만부</p>
KNOU (韓)	<p>—</p>  <p>(KNOU 역사관)</p>	<p>(도서정보예산) • 중앙도서관 1억 4293만엔 • 지역대학 3799만엔</p> <p>합계 1억 8092만엔 (전체의 1%)</p> <p>(★전자자료 5000타이틀 2080만엔)</p>	<p>(중앙도서관) • 정보운영계 • 자료정리계 • 정보관리계</p> <p>(직원수) 중앙도서관 15명 + 학생자원자 (사서자격보유자 100%) 지역대학 63명</p> <hr/> <p>(도서수) 본부 21만 5천부 지역대학 38만 5천부 학습센터 21만 5천부</p> <p>합계 81만 5천부</p>

(2008/2009)

III 교육·연구시스템상의 도서관기능 (별지 도면참조)

日·英·韓의 오픈유니버시티 교육·연구시스템에는, 공통점 및 상이점이 존재함. 공통점으로는, 종래의 대학교육보다 광범위하며 다종다양의 교재를 다양한 방법으로 제공하고 있다는 점. 또한, 3 대학 공히, 국가의 생애학습 정책상 중핵 기관으로, 고등교육의 내용과 방법 등 선도적 역할이 기대되고 있다는 점. 재정·인재에 관한 공적 지원 비율이 높다는 점. 상이점으로는, 교육·연구조직이 OIJ(日)에서는 분업형, UK-OU(英)에서는 협업형, KNOU에서는 분업·연계형으로 구성되어 있다는 점. 각 도서관에는 다음과 같은 특색이 보여짐.

(OIJ 도서관)

- 학생, 교원, 사무직원, 학습센터 개개의 수요에 대응하여 업무를 수행
 - 다양한 방법으로 도서정보서비스 제공 (전자자료, 인쇄도서잡지, 교재 등)
 - 카운터창구에 의한 face to face 의 참고조사
 - 학습센터의 도서실에의 도서개방 및 전자시스템 등의 지도·관리
 - 교원의 연구지원 (도서잡지의 구입, 연구연보의 발행 등)
 - 학생의 학습·연구지원 (참고도서대출, 도서잡지복사, 타도서관에의 대여, 자택에의 택배 등)

(UK-OU 도서관)

- 전자도서관으로서, 웹상의 교재제공, 도서잡지의 열람, 연구추진을 실시하고 있음.
 - 13년 전부터 전자화된 도서정보 서비스 특화 방침
 - 인터넷, 전화 등에 의한 24시간 대응의 참고조사
 - 교재개발, 정보전달의 기술방법의 시행, UKOU 고유의 자료 관리 등의 업무
 - 교원·연구원·사무직원·대학원생과의 협업체제



(UKOU 잡지열람코너)

(KNOU 도서관)

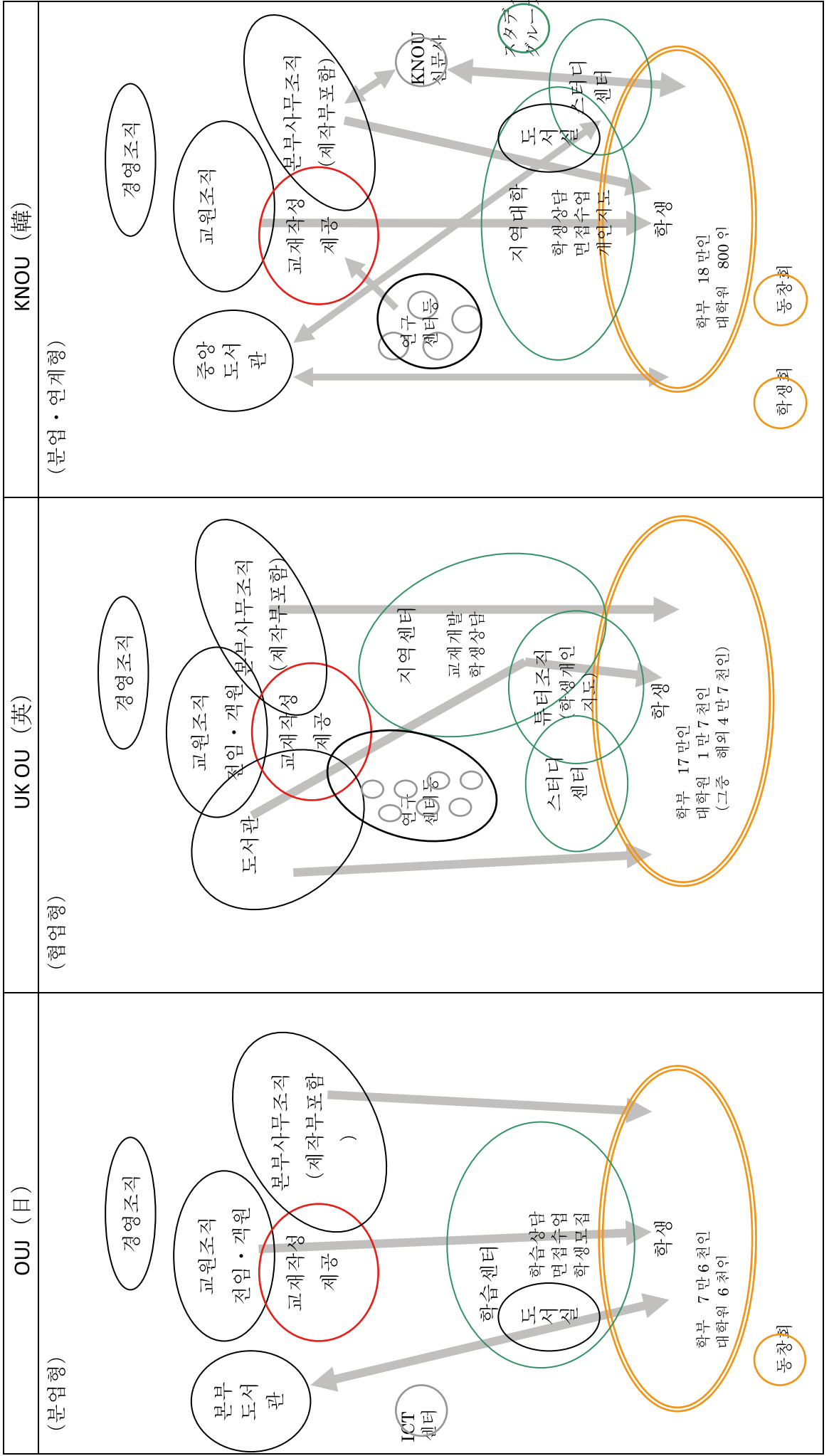
- 중앙도서관과 지역대학도서관의 강한 연계하에, 학생, 교원, 사무직원을 지원하고 있음.
 - 본부·지역대학도서관 직원 체재의 정비 (인사이드 포함)
 - 어느곳에 빌리든 어디라도 반납이 가능한 반납시스템 등
 - 역사자료관의 확충

IV 방송대학 도서관의 향후과제

- 1) 도서관의 전자화추진 (대학전체의 정보기반구축과의 관계속에서)
 - 참고 : —3개국의 전자저널수 및 지출액
 - e-book의 보급상황
 - 학색의 컴퓨터 활용능력
- 2) 학생과 교직원에의 서비스개선
 - 교재개발에의 참가
 - 도서정보의 활용추진
- 3) 본부도서관과 학습센터 도서실의 연계·협력
- 4) 교재의 보존·관리의 신 방법
- 5) 아-카이브의 창설 및 충실화 (본학 관계, 해외OU 관계자료)
- 6) 원격교육대학도서관의 일본형 선진 모델의 구축
 - 배움의 커뮤니티를 여하히 구축할 것인가
 - 타대학과의 네트워크화



日・英・韓 오픈유니버시티 도서관 조사보고
~대학 조직도~



第2部 日本・英国・韓国
Open University の概要

第2部

第2部 日本・英国・韓国 Open University の概要

1. 大学の目的

OUJ (日)

放送大学学園は、テレビとラジオの専用の放送局を開設し、生涯学習機関として変化の激しいかつ複雑化する社会へ対応しつつ、広く社会に開かれた大学教育を行うことを目指して、昭和58年に設置された。

(具体的目的)

1. 生涯学習機関として、広く社会人に大学教育の機会を提供すること。
2. 新しい高等教育システムとして、今後の高等学校卒業生に対し、柔軟かつ流動的な大学進学を保障すること。
3. 広く大学関係者の協力を結集する教育機関として、既存の大学との連携協力を深め、最新の研究成果と教育技術を活用した新時代の大学教育を行うとともに、他大学との交流を深め単位互換の推進、教員交流の促進、放送教材活用の普及等により、わが国大学教育の改善に資すること。

学生数： 学部生 7万9千人、院生 6千人 (2009年3月現在)

UK OU (英)

OUはUKで唯一の遠隔教育のために作られた大学である。OUで学ぶためには基本的に過去の学位は必要とされない。年齢が16歳を超えていることが必要だが、上限はない。15万人の学部生と、3万人を超える院生がおり、学生のおよそ1万人が障害を持っている。

OUの教授スタイルはサポートされた公開学習と呼ばれる。学生のほぼ全員がパートタイム学生で、約70パーセントの学部生がフルタイムの仕事についている。5万人以上の学生が彼らの雇用主から学費の援助を受けている。1万1千人が現在OUの上級学位のために勉強している。

ほとんどのコースがヨーロッパ中で利用可能で、世界の他の地域でもいくつかのコースは利用できる。4万7千人の学生がイギリス国外に住んでいる。イギリス国内のOU学部生の3分の1が通常イギリスのほかの大学で要求されるよりも低い入学資格で入学している。

KNOU (韓)

すべての人々に開かれた生涯教育大学であるKNOUは、個々の志にあった学習の道を提供している。

1972年から現在まで、KNOUは約40万人の卒業生を送り出し、約18万人が在学している。毎年卒業生の約2割が大学院へ進学し、他の卒業生は社会の各分野で活躍している。

KNOUの在学生の8割が仕事をしている。いつでもどこでも勉強できるので、社会生活を続けながら、高度の学業を続けることができる。KNOUでは、教室での授業に参加できない学生のために、面接授業で学習することに相当する「代替試験」を実施している。各学科および各地域に広がる約1000のスタディグループに参加して一緒に学習することが奨励されている。

KNOUはあらゆる人々が学んでいる。主婦から政治家、ティーンエイジャーからシニアまで、ソウル市民も済州島民も。学生の年齢、職業、出身地は多岐に渡っている。KNOUに入学すると、単に知識を得るだけでなく、幅広いバックグラウンドの学生と交流できる。

2. 大学の沿革

OUJ (日)	
1981.06	放送大学学園法公布・施行
1981.06	放送大学学園設立
1982.04	放送大学学園により放送大学設置
1985.04	放送による授業開始
1985.04	学習センター(群馬・埼玉・千葉・東京第一・東京第二・神奈川) 学生受入れ開始 *以降順次学習センター数を増やし、 全国に現在(2009.8) 57ヶ所学習センター・サテライト
1989.04	第1回卒業式の挙行
1998.01	CS放送による全国放送開始
2001.04	放送大学大学院設置
2002.04	放送大学大学院学生受入れ開始・放送による授業開始
2004.03	最初の大学院(修士課程)学位記の授与
2006.12	地上デジタル放送開始(関東エリア)
2009.04	I C T活用・遠隔教育センター設置

UK OU (英)	
1969.04	国王特許状に認められOUが正式大学となる。
1970	最初の学生募集 4コース(科学、数学、社会科学、芸術) 25,000の定員に対し42,821人の応募者
1973	900人が最初の卒業生となる。
1983	ビジネススクール開講
1990	10,000人目の卒業生を送り出す。
1998	ヨーロッパ各国にもサービス提供開始
2002	最初の卒業式以来25周年記念
2004	アラブOU設立に着手
2006	サンデータイムズ紙によるとケンブリッジ、ラフバラ、ヨーク、LSEの4つの教育機関のみがOUよりもよい教授記録を保持している。
2007	OUは35%のパートタイム学生を抱えるイギリス最大の大学
2009	40周年を記念して、自由に利用可能な学習教材の例を備えたOpen Learnが開始される。

KNOU (韓)	
1972.03	韓国初の生涯教育機関として韓国放送通信カレッジ(KACC)設立。国立ソウル大学(SNU) 付属の5つの学部としてスタート
1981.02	2年制のカレッジ課程を5年制の学士課程へ再編
1982.02	KACC、SNUより独立。KACC新聞設立
1982.07	KNOU出版設立
1984.05	電子コンピュータセンター(情報コンピュータセンター)設置
1984.12	教育メディア開発研究所設立
1991.12	5年制を4年制に再編
1992.03	部門制導入(5部門)
1993.02	韓国放送通信大学校(KACU)へ名称変更
1994.11	英語名称をKorea National Open University(KNOU)へ変更
1996.09	KNOU TV(OUN)を開局
1997.05	障害教育センター設立
1998.01	独学学士号試験プログラムをKNOUに移管しKNOUより実施
2000.04	現職教育センター開設
2001.09	大学院設置。バーチャル教育支援センター設立
2002.11	AAOU(アジア オープン大学連合)第16回年次会議主催
2003.11	KNOU財政支援委員会設立
2005.03	カレッジ制度設置
2007.03	デジタル・メディア開設(教育メディア開発センターとeラーニング・センター併合)
2007.12	人文科学統合研究センター設立
2008.06	海外協力プログラム新設

3. 教育システム

OUJ (日)

放送大学では、これまでに110万人が学び5万人を超える卒業生を送り出してきた。テレビ・ラジオ・インターネットによる放送教材と印刷教材を併用して、約300科目の講義を提供している。

① コースとプログラム

- ・ 教養学部（学士課程）5つのコース
（生活と福祉、心理と教育、社会と産業、人間と文化、自然と環境）
- ・ 大学院文化科学研究科（修士課程）6つのプログラム
（生活健康科学、人間発達科学、臨床心理学、社会経営科学、文化情報学、自然環境科学）

② 学生の種類

- ・ 教養学部
 - － 卒業を目指す「全科履修生」（在籍4年以上、最長10年）
 - － 好きな科目だけを履修する「選科履修生」（1年間在籍）、「科目履修生」（半年間在籍）
 - － 資格取得を目指す「集中科目履修生」
- ・ 大学院文化科学研究科
 - － 修士の学位取得を目指す「修士全科生」（在籍2年以上）
 - － 好きな科目だけを履修する「修士選科生」（1年間在籍）、「修士科目生」（半年間在籍）

UK OU (英)

- OUの学部
 - ・ 法学部
 - ・ 芸術学部
 - ・ 数学・コンピューティング・テクノロジー学部
 - ・ 科学部
 - ・ 社会科学部
 - ・ 健康・社会ケア学部
 - ・ ビジネススクール
 - ・ 教育・語学研究
 - ・ 教育技術研究所
 - ・ 知識・メディア研究所
- 総合教育センター
 - ・ 市民権・アイデンティティ・統治センター
 - ・ 比較犯罪学研究国際センター
 - ・ コンピューティング研究センター
 - ・ 教育・教育技術研究センター
 - ・ 地球・惑星・宇宙・天文学研究センター

600以上のコースが200以上の学位取得のために設けられている。特別にデザインされた導入講座から初めて、徐々に最初の大学レベルの学位、さらにはそれ以上の学位取得を目指すことができる。

KNOU (韓)

- 大学学部課程
人文科学学部、社会科学学部、自然科学学部、教育科学学部
- 大学院課程
実用英語学科、行政学科、経営学科、家政学科、コンピュータ科学学科、看護学科、生涯教育学科、幼児教育学科、eラーニング学科
- パートタイム就学プログラム
- 学士号取得を目指さないプログラム
- 独学学士号試験プログラム

4. 学生の種類と学生数

OUJ (日)

教養学部 (人)		(構成比)
学生の種類	在学生数	
全科履修生	50,888	10代 5.2%
選科履修生	17,235	20代 15.2%
科目履修生	6,641	30代 25.0%
特別聴講学生	4,292	40代 23.1%
合計	79,056	50代 16.5%
		60代 15.0%
		男性 43.6%
		女性 56.4%

※ 特別聴講学生とは、他の大学等の学生で当該大学等と放送大学との協定に基づき、本学において科目の履修を行っている学生である。

大学院文化科学研究科 (人)	
学生の種別等	在学生
修士全科生	1,329
修士選科生	3,589
修士科目生	995
特別聴講学生	0
合計	5,913

(2009年3月現在)

UK OU (英)

- 過去2年間の学生数 (人)

学生の種類	2006.07	2007.08
学部生	164,307	168,745
大学院学生	17,675	16,646
教員養成	463	484
海外特別枠	8,853	9,521
認定学生(提携校)	32,136	32,490
単位取得のない学生等	842	1,329
学生合計	224,276	229,215

- 全科生の学科別統計 (人)

学 科	2006.07	2007.08
医学関連	1,920	1,952
生物・物理学	11,910	11,974
数学	5,126	4,831
コンピュータ科学	3,064	2,960
工学・技術	5,894	5,770
社会科学	14,577	14,295
法律	2,428	2,329
ビジネス・経営研究	7,721	8,200
マスコミ・資料学	187	183
語学	6,823	7,713
歴史学・哲学	9,165	9,015
芸術・デザイン	545	629
教育	6,784	6,622
合 計	224,276	229,215

- 年齢構成

(男女比)	学部 39:61	大学院 51:49
25歳未満	14%	3%
25～34歳	29%	33%
35～44歳	30%	38%
45～54歳	17%	19%
55～64歳	8%	5%
65歳以上	3%	1%

KNOU (韓)

(2008年統計年報基準)

● 学生数 (学部生) (人)

単科大学	学 科	入学定員	在籍生数	在学生数
人文科学大学	国語国文学科	3,500	15,885	9,431
	英語芸文学科	5,000	28,494	19,491
	中語中文学科	4,000	14,636	9,118
	仏語仏文学科	1,500	829	486
	日本学科	3,500	15,596	10,217
社会工科大学	法学科	4,000	19,767	11,558
	行政学科	2,500	9,806	5,456
	経済学科	2,000	4,560	3,537
	経営学科	5,000	30,512	20,259
	貿易学科	1,500	3,803	2,546
	メディア映像学科	2,500	7,581	4,699
	観光学科	2,000	4,870	3,920
自然科学大学	農学科	1,500	4,256	2,729
	家庭学科	4,500	22,093	14,550
	コンピュータ科学科	3,500	16,163	9,529
	情報統計学科	1,500	2,292	1,466
	環境保健学科	2,000	6,016	4,076
	看護学科	-	8,216	5,423
教育科学大学	教育科	5,000	29,443	22,659
	幼児教育科	2,700	22,288	16,100
	文化教養学科	2,000	5,567	4,818
合 計		59,700	272,673	182,068

● 学生数 (大学院生) (人)

学 科	入学定員	在学生数
行政学科	50	135
経営学科	50	150
家庭学科	50	73
情報科学科	50	137
看護学科	50	34
生涯教育科	50	141
幼児教育科	50	121
合 計	300	791

・ 性別構成

性 別	人 数 (人)	構成率 (%)
男性	59,626	32.7
女性	122,442	67.3
全体	182,068	100

・年齢別構成

年 齢	人 数 (人)	構成率 (%)
20 才以下	1,498	0.8
21～25 才	19,307	10.6
26～30 才	41,242	22.65
31～35 才	35,912	19.7
36～40 才	39,328	21.6
41～45 才	21,470	11.8
46～50 才	13,349	7.33
51～55 才	6,578	3.6
56～60 才	2,213	1.22
61～65 才	832	0.5
66 才以上	339	0.2
全 体	182,068	100

5. 大学の組織

OUJ (日)

① 教職員組織 (2009 年度) (人)

		職員数	備考
本部	役員 (常勤)	7	
	役員 (非常勤)	4	
	教員 (常勤)	84	
	事務職員 (常勤)	186	
	事務職員 (非常勤)	144	
(小計)		425	
学習センター (サテライトを含む)	教員 (常勤)	10	センター所属准教授
	教員 (非常勤)	50	学習センター長
	事務職員 (常勤)	71	
	事務職員 (非常勤)	376	
		2272	延べ数
合 計		3204	

② 財政

通常の学校法人と異なり、経常費の半額を超える補助金の交付を受けることが可能であり、現在収入の60%は国からの補助金、40%は授業料収入等で構成されている。

UK OU (英)

OU の管理組織

- OU は 1969 年 4 月 23 日に国王の許可状によって設立され、評議会、議会、総会の 3 つの制定機関によって治められている。
- 評議会は 25 人のメンバーからなり、学術研究スタッフ、助教授、非学術スタッフ、学生、外部選出メンバーの代表を含んでいる。後者がメンバーの大部分を占め、彼らは経験と専門によって任命される。
- 評議会は大学の学術的権威で、評議会の力により教授と研究者において大学の学術的活動を促進させる責任を担う。議会は学位授与機関としてカリキュラムや大学に関わる質や基準の全ての点を含んだ大学の学術管理を監督する。
- 総会は選出された国家、地域の代表、議会によって任命された代表からなる。総会は大学の活動や利権に関わる全ての問題において議会に意見を述べるができる。

職員統計

(人)

職員数	2006.07	2007.08
教員・研究員	1,218	1,253
教務補助員	1,654	1,786
事務職員	1,847	1,910
チューター (Associate lecturers)	8,094	7,982

収支

(100万ポンド)

収入	2006.07	2007.08
補助金	212.1	225.6
授業料	123.1	128.8
研究資金	12.6	14.4
その他の収入	19.5	21.5
寄付金	8.5	10.6
収入合計	375.8	400.9
支出	2006.07	2007.08
人件費	225.3	241.4
	9.4	10.6
その他の運営費	125.6	132.1
利子払い	3.4	4.3
支出合計	363.7	388.4

KNOU (韓)

教職員現況

(人)

区分	定員	現員	備考
総長	1	1	
教員	教授	88	
	副教授	22	
	助教授	25	
	専任講師	5	
	助教(助手)	58	58
小計	201	199	
一般職公務員	3級	1	1
	4級	2	2
	5級	12	12
	6-9級	127	127
	別定職	18	18
	技能職	69	69
小計	229	229	
期成会職	学事管理職	276	252
	放送媒体製作職	58	47
	授業助教(助手)	88	85
	研究員	18	14
小計	440	398	
合計(技術職)	870	826	

(2007年統計年報基準)

第3部 日本・英国・韓国
Open University 図書館の現状と課題

第3部

第3部 日本・英国・韓国 Open University 図書館の現状と課題

1. 現状

1) 概要

OUJ (日)

本学附属図書館は開学とともに発足し、1990年度に現在の本部図書館を竣工した。本部図書館に約31万冊、全国50ヶ所にある学習センター図書室を含めると約75万冊の蔵書を有する。また本学に所蔵していない資料でも、国立情報学研究所の学術情報システムを活用して、他大学図書館の所蔵を確認して利用することができる。

通信制の大学図書館ということから映像・音声資料が充実しており、開学以来の放送教材と印刷教材(テキスト)を保存し、利用に供している。

また、2009年4月には、組織改変に伴い教育メディア開発センター(NIME)の情報資料室(図書約6万冊等)を統合し規模が一層拡大された。

UK OU (英)

オープン・ユニバーシティ図書館のサービスは学生の学習経験を向上させ、学習、教授、研究、そしてスタッフ個人の自己啓発をサポートする世界レベルの所蔵資料へのアクセスを提供することを目的としている。図書館のウェブサイトは様々なオンライン情報資料へのゲートウェイであり、またOUの前総長、ベティ・ブートロイドの名にちなんで名づけられ、大学図書館にある資料やサービスについての情報を提供している。

KNOU (韓)

韓国放送通信大学校中央図書館は1972年開校と同時に音響図書室として発足し、1982年に現中央図書館書庫3階建物に移転、1984年大学図書館として昇格した。

1985年9月に、現在の中央図書館増築・開館により大学図書館としての面貌をもつようになり、大学図書館の機能と役割を遂行できる基礎を整えることとなった。1994年、開架諸資料室(現情報資料室)を設置し、学生達が直接資料にアクセスできるようになり学習活動への利便性をもたらした。

1997年2月図書館学術情報システムであるオンヌリ(ONNULI)を導入し、迅速かつ便利に図書館資料の検索・活用ができる環境を構築し、各種原文情報、海外学術データベース、ウェブマルチメディア学習資料を利用できる図書館電算化サービスなど電子図書館システムの構築を行った。他に研究支援及び学習支援機能の強化、必要学術情報提供のための努力を継続しており、中央図書館の他全国13の地域大学図書館、3箇所(3箇所)の学習センター図書室及び33箇所(33箇所)の市・郡学習館図書室を設置し運用している。

2) 沿革

OUJ (日)	
1983.04	放送大学設置、同附属図書館設置(放送研究図書資料棟)
1985.09	図書電算システム稼動
1986.03	国立国会図書館「図書館間貸出制度」加入
1986.04	国立大学図書館協議会加盟
	国立大学図書館間相互利用制度加入
1988.02	新図書館建設委員会設置
1989.02	新図書館着工
1990.06	新図書館開館
1990.08	学術情報システム(目録所在情報サービス) 加入
1997.01	図書館電算システムをクライアント/サーバ方式に変更 インターネットによる蔵書検索サービスを開始
1997.04	日曜日開館実施
1997.11	図書館保存庫着工
2000.04	休日開館及び土曜・日曜・休日の開館時間延長サービスを開始
2007.10	放送教材の館外貸出サービスを開始

UK OU (英)	
1969	学術スタッフのみを対象として図書館設立
1971	文書配達と教材アーカイブが設立される
1974	ジェニーリー図書館開館
1989	リベルタース図書館マネージメントシステム導入
1992	図書館目録オンラインに。図書館がパートナーシップ同意の下で地元大学キャンパスの学生に開かれる
1994	新しい館長ニッキー・ワイトセッドが学生へのサービスを提供する権限と共に任命される。36人の図書館スタッフ
1996	学生戦略への新しいサービス。建物の改装
1998	学生がどの学術図書館を使うことができるのかの詳細を伝える HE 図書館データベースへのアクセス開始
2000	ROUTES サービス開始(OU のコースをサポートするクオリティ評価ウェブサイト)
2001	最初のデジタル図書館が学生とスタッフにサービス提供開始 SAFARI サービス開始(相互的オンライン情報スキルパッケージ)
2002	大学 US 開発の一部として US OU 図書館設立 Voyager 図書館管理システム導入 新たな図書館工事着工
2004	ヘルプデスク・チャットインスタントメッセージサービス開始
2005	新図書館オープン。100人の図書館スタッフ
2006	Open Research Online サービス開始(大学研究資料庫)
2007	アラブ OU への電子図書館設立契約
2008	図書館日曜日開館開始
2009	第一回 M 図書館会議がミルトンキーンズで行われる オンライン図書館が内容管理システムに基づいて再デザインされる キャンパス図書館がセルフサービス制になる 第二回 M 図書館会議がバンクーバーで行われる

KNOU (韓)	
1972. 03	本大学開校。同時音響図書室として発足。
1975. 03	全国各地域協力大学に音響図書室を拡大設置（総合大学 5 箇所、教育大学 9 箇所）、指定された時間の放送講義を聴けなかった学生のための講義聴取便宜を提供し始める
	大学本部独立庁舎新築により 4 階に 314 席の閲覧室と貸し出し室を設置
1981. 10	現中央図書館書庫 3 階建物に拡大移転
1982. 11	大学図書館に昇格（規則第 74 号）
1983. 03	出入管理システム運営
1994. 08	学術情報システムオンヌリ（ONNULI）稼動
1997. 02	原文情報サービス実施
1998. 02	海外学術 DB（PQD-ARL）オンラインサービス開始
1999. 05	地域大学図書室電算化完了およびサービス開始
	学術情報検索室運営
2000. 02	情報予約提供サービス(SDI)システム構築
2000. 03	本部及び 13 個地域大学書誌 DB・図書館提供国内外 WEB-DB 統合サービス
	情報予約提供サービス(SDI)のための、S/W、H/W システム拡充
2002. 12	本部図書館の学生館外貸出実施
2003. 01	国外電子図書サービス
2003. 03	本部図書館を中央図書館に改称
2003. 05	国内電子図書サービス
2003. 07	教授推進教養図書 150 選選定
2004. 04	統合検索システム構築
2004. 11	修士学位論文自動登録および学位論文原文 DB システム構築
2005. 06	放送大学学生のためのお勧め図書 100 冊選定
2006. 03	中央図書館と地域大学間図書貸出連携実施
2007. 01	原文複写および図書貸出の宅配サービス実施
2008. 02	放送大学歴史館開館
2008. 05	研究資料室開室
2008. 12	学術情報検索室の追加増設

3) 本部(中央)図書館の利用

OUJ (日)

- 開館時間

月曜日 ~ 金曜日	9:00~18:30
土曜日、日曜日、祝日、休日、試験期間とその前1週間程度	9:00~20:00
- 休館日

年末年始

館内整理日 1月及び7月を除く毎月 第4月曜日
(ただし、当該日が祝日または休日にあたるときは翌日)
- 利用資格 — 図書館を利用できる者は、次のとおり。
 - ① 本学の教員
 - ② 放送大学学園 (以下「学園」という。) の役職員
 - ③ 本学の学生
 - ④ 本学の名誉教授
 - ⑤ 本学の元教員
 - ⑥ 本学の卒業生及び大学院を修了した者
 - ⑦ 一般の利用者
- 貸出条件 — 図書資料の貸出期間及び貸出冊数は、次のとおり。
 - ① 本学の教員 2か月以内 20冊以内
 - ② 学園の役職員 2か月以内 20冊以内
 - ③ 本学の大学院学生 1か月以内 10冊以内
 - ④ 本学の学部学生 1か月以内 5冊以内
 - ⑤ 本学の名誉教授 2か月以内 20冊以内
 - ⑥ 本学の元教員 1か月以内 10冊以内
 - ⑦ 本学の卒業生及び大学院を修了した者 2週間以内 3冊以内
 - ⑧ 一般の利用者 2週間以内 3冊以内

UK OU (英)

- 開館時間

ヘルプデスク	
月曜日—木曜日	9:00—17:30
金曜日	9:00—17:00
日曜日	12:00—17:00
図書館	
月曜日	8:30—19:30
火曜日	8:30—21:00
水曜日	8:30—19:30
木曜日	8:30—21:00
金曜日	8:30—17:00
土曜日	9:00—17:00
日曜日	12:00—17:00 (セルフサービスのみ)

● 利用資格

利用者区分 サービス内容	OCスタッフ	退職したスタッフ	客員講師や研究者	芸術研究員	生博士課程院生・研究	修士課程院生	学部生	カウシナルメンバー	卒業生	外部職員・外部学生	ゲストメンバー
オンラインコレクションへのアクセス	Yes	No	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes	No	No	No
他の図書館へのアクセス	Yes	No	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes	No	No	Yes
貸し出し数	40冊	10冊	40冊	6冊	40冊	40冊	10冊	40冊	4冊	4冊	6冊
文書配達	Yes	No	Yes	No	Yes	No	No	Yes	No	No	No
電話・Emailでの貸し出し延長	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes	Yes
最大貸し出し期間	4ヶ月	2ヶ月	4ヶ月	1ヶ月	4ヶ月	4ヶ月	1ヶ月	4ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
取り置き	Yes	Yes	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes	No	No	No
定期購読物貸し出し	Yes	Yes	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes	No	No	No
ビデオDVD貸し出し	Yes	Yes	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes	No	No	No
トレーニング・開発資料貸し出し	Yes	Yes	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes	No	No	No
IT装置貸し出し	Yes	No	No	No	No	Yes	No	No	No	No	No
OU論文貸し出し	Yes	Yes	Yes	No	Yes	Yes	Yes	Yes	No	No	No

学生や職員以外でもOU図書館の資料を借りたい人はゲストメンバーとして登録することができる。またイギリス内のほかの大学の学生であればSCONULアクセススキームを利用して自分の大学で登録することもできる。

● 図書館の設備

年度	総床面積	図書館スペース			席				
		大学のヘルプとサポート	設備への利用	従来の図書館とでの利用	学習席合計	オープンアクセス	ネットワーク席	学習席・週間の利用時間	ワークステーション・週間の利用時間
	sq m	%	%	%				時間	時間
03-04	6,300	not collected	not collected	not collected	302	55	not collected	16,761	3,053
04-05	6,300	not collected	not collected	not collected	323	80	not collected	16,938	5,000
05-06	6,300	not collected	not collected	not collected	353	89	not collected	24,180	6,096
06-07	6,300	not collected	not collected	not collected	353	89	not collected	24,180	6,096
07-08	6,300	10	50	40	371	67	12	24,542	4,432

- 図書館との連絡方法
 - <質問フォーム>
 - ・電話 441908659001 図書館ヘルプデスク
 - 441908653138 延長、予約、文書配達に関する質問
 - 441908655455 聴覚障害者へのミニコンピューターサービスについて
 - ・ウェブチャット：図書館司書と話ができる。(時間外はメール)
 - ・Eメール： lib-help@open.ac.uk (24時間以内の返信)
 - ・訪問： ベティ・ブートロイド図書館はミルトンキーネズのウォールトンホールにあるオープンユニバーシティキャンパス内に位置
 - ・手紙： 図書館ヘルプデスク
The Open University, Walton Hall, Milton Keynes, MK7 6AA UK
 - ・ファックス： 441908653571 (ヘルプデスク宛)
 - ・図書館ツアー： 学校の先生は第6学年のための(16歳から18歳)図書館ツアーをリクエストすることができる。
- 日曜日の開館

日曜日の図書館はセルフサービス基本での開館。図書館内の全ての書籍や資料にアクセスすることができ、勉強スペースや訪問者用パソコンも使うことができる。貸し出しや返却は1階にあるセルフサービス用の貸出機を使って自分で行うことができる。表玄関にある返却ポストに本を入れて返却することもできるが次の営業日までアカウント上で返却したことにはならない。

KNOU (韓)

- 利用時間

中央図書館

区 分		平 日	土曜日/休日	備 考
書庫 (1階)		09:00~18:00	休室	
情報資料室 (2階)		09:00~20:00	09:00~17:00	
学術情報検索室	1階	09:00~23:00		
	2階			
一般閲覧室 (3、4階)		09:00~23:00		
研究資料室 (第一研究棟1階)		09:00~18:00	休室	

地域大学、学習センター及び市・郡学習館図書室

区 分		月	火	水	木	金	土	日	備考
地域大学 学習セン ター	一般開 覧室	07:00~22:00							
	資料開 覧室	休室	09:00~20:00				09:00~17:00		
市・郡		休館	13:00~21:00				休館		

※) 地域により運営時間は多少上記と異なる場合あり

- 休館日
1月1日、(旧暦)正月休み、卒業式日、開校記念日(3月9日)、仏陀誕生日、お盆休み、クリスマス
※臨時休館日：中央図書館長および地域大学長は事由がある場合指定することができる(地域大学運営規定第26条、図書館運営規定第10条)
- 利用資格
 - ① 校在生および生涯教育院過程登録生
 - ② 本校教職員
 - ③ 本校名誉教授および退職教授
 - ④ 本校時間講師およびチューター(Tutor)
 - ⑤ 協力学校教職員
 - ⑥ その他中央図書館長の許可を得た者

- 資料貸出可能冊数及び期間

区 分	貸出冊数	貸出期間	貸出延長
大学生(当該学期登録生)	5冊	12日	1回 但し、予約資料及び 延滞者は除外
大学院生(過程修了後2年以内)	10冊	30日	
教授	40冊	90日	
職員および助教(助手)	30冊	60日	
その他	3冊	7日	

4) 本部図書館の利用状況

OUJ (日)

附属図書館貸出冊数

区 分	貸出冊数	貸出人数
学 生	17,738	8,540
院 生	4,589	1,706
教 職 員	1,287	642
メディア教育開発センター	172	43
そ の 他	364	209
合 計	24,150	11,140

学習センターへの貸出冊数(学内相互利用)

図 書	AV資料等	謝 絶	合 計
3,612	428	54	4,094

参考業務(レファレンス・サービス)利用件数

利用案内	所蔵調査	事項調査	そ の 他	合 計
2,208	350	38	746	3,342

図書館間相互利用

区 分	依 頼	受 付	合 計
現物貸借	296	182	478
文献複写	1,837	298	2,135

(2008年度)

UK OU (英)

顧客

年度	フルタイムの 学術スタッフ	フルタイム の学生	地元 外部利用者	その他のフル タイム職員	フルタイム 利用者合計
03-04	1,057	69,468	1,262	3,365	74,395
04-05	2,929	64,128	1,704	3,332	71,071
05-06	2,811	64,130	1,986	3,508	71,244
06-07	2,882	66,227	1,755	3,728	73,538
07-08	2,844	65,434	2,311	3,783	72,985

*フルタイムはフルタイムとその他同等のものを含む

図書館利用						
年度	年間訪問者		貸出数合 計	全文記事リ クエスト数	e-book ア クセス数	活動的 な借り 手数
	合計	外部利用者				
03-04	<i>n/k</i>	<i>not collected</i>	39,311	482,819	12,476	3,885
04-05	74,847	<i>not collected</i>	50,639	820,288	<i>n/k</i>	4,493
05-06	64,409	27,975	55,824	<i>n/k</i>	<i>n/k</i>	4,643
06-07	69,306	29,410	57,322	601,691	53,262	5,010
07-08	76,801	38,750	57,523	2,616,491	67,518	<i>n/k</i>

年度	図書館相互取引			その他のサービス					
	貸し 出し 申し 込み 数	実現さ れた申 し込み 数	貸し出 された もの の 数	質問				読者指導	
				情報 資料	手続き に関し て	IT 関係	合計	スタ ッフ 時間	利用者 時間
03-04	9,131	8,617	97	168	258	<i>not collected</i>	<i>not collected</i>	156	1,795
04-05	8,648	8,188	147	182	374	<i>not collected</i>	<i>not collected</i>	725	1,979
05-06	6,628	6,507	167	193	237	<i>not collected</i>	<i>not collected</i>	150	2,157
06-07	5,437	5,040	137	77	225	<i>not collected</i>	<i>not collected</i>	1,291	12,911
07-08	6,975	6,975	126	160	189	<i>n/k</i>	<i>n/k</i>	<i>n/k</i>	<i>n/k</i>

年度	その他のサービス	
	とられたコピー数	印刷枚数
03-04	288	n/k
04-05	266	45
05-06	222	41
06-07	231	39
07-08	n/k	n/k

5) 学習センター図書室の利用

OUJ (日)

- 開室時間 (学習センターの開所日。面接授業、単位認定試験の実施等により異なる。)
 - 火曜日 ~ 土曜日 10:00~18:30
 - 日曜日 9:30~17:30
- 休館日
 - ① 毎月曜日
 - ② 国民の祝日に関する法律に定める祝日 (以下「国民の祝日」という。)
 - ③ 年末年始 (12月29日から31日まで及び翌年1月2日から3日まで)
 - ④ その他学長又は学習センター所長が特に必要と認めた日
- 利用資格
 - ① 本学の学生
 - ② 教員、名誉教授及び放送大学学園の役職員
 - ③ 学習センター所長の許可を得た者が利用できるものとする
- 貸出条件 — 図書資料の貸出期間及び貸出冊数は、次のとおりとする。
 - ① 本学の大学院学生 1か月以内 6冊以内
 - ② 本学の学部学生 1か月以内 4冊以内
 - ③ 本学の教員 1か月以内 8冊以内
 - ④ 本学の名誉教授 1か月以内 8冊以内
 - ⑤ 放送大学学園の役職員 1か月以内 8冊以内
 - ⑥ 開発センターの教職員 2週間以内 2冊以内
 - ⑦ 学習センター所長の許可を得た者 2週間以内 2冊以内

UKOU (英)

UKOUの学習センターには、図書室はない。

KNOU (韓)

13 地域(ソウル地域、プサン地域、テグ慶北地域、仁川地域、光州・全南地域、大田・忠南地域、鬱山地域、京畿地域、江原地域、忠北地域、全北地域、慶南地域、済州地域)の地域大学と学習センター

ソウル地域の例

地域大学と学習センターの図書館の利用

・ 図書館利用

室	曜日	利用時間	備考
資料閲覧室	火一金	09:00-20:00	
	土、日曜日	09:00-17:00	資料整理 17:00-18:00
	月曜日	休室	
一般閲覧室	月一日	07:30-22:00	

※休館日：1月1日、(旧暦)正月およびお盆休み、仏陀誕生日、クリスマス、臨時休館日(地域大学運営規定第26条、図書館運営規定第10条)

※図書館利用時、チェックカード兼用学生証は必ず所持—出入り管理システムおよび学術情報検索室など図書館利用時必要

・ 資料貸出

貸出対象資料	貸出および返納時間	貸出冊数	貸し出し機関
単行本中複本図書 (教材、辞典、学術雑誌など除外)	資料閲覧室利用 時間内	5冊	館外貸出12日

図書返納は貸出された図書館に関係なく中央図書館、ソウル地域大学図書館及び南部学習センター図書館に装備された自動無人返納機に返納可能。

貸出制限：中間試験および課題物試験の類型が学報に掲載される日から試験当日まで(中央図書館運営規定第14条)

・ 資料複写(コピー) および印刷—文献複写および印刷料金(ウォン/枚)

区分	A4サイズ(ウォン)	B4サイズ(ウォン)	複写方法
資料複写	35	40	複写カード(コピーカード)を購入後、利用者が直接コピーおよび印刷
資料印刷	50	-	

・ 施設現況

貸出対象資料	位置	閲覧席数	付帯施設	備考
資料閲覧室	光明ビル3階	18席	—	—
学術情報検索室	光明ビル3階	15席	—	—
一般閲覧室	光明ビル3階	80席	—	—

・ 住所および電話番号： 〒133-825 ソウル市城東区聖水洞 684-54 光明 BLDG 3階
TEL02-4606-741、743

6) 利用者サービス

OUJ (日)

I. 附属図書館

① 資料の貸出

(ア) 資料の貸出・返却、貸出期間の延長

(イ) 資料の問い合わせと予約

(ウ) 図書館資料利用申込 (一般図書・閉講教材)

① 附属図書館配架資料を希望する学習センター等へ送付。

(エ) 図書館資料利用申込 (研究図書)

① 教員研究室配架資料を希望する学習センター等へ送付。

(オ) 他学習センター資料利用申込

(カ) 自宅配送サービス

① 附属図書館配架資料を自宅まで送付。

② 相互貸借

(ア) 文献複写申込

(イ) 現物貸借申込

(ウ) 他大学図書館利用申込・紹介状発行

③ 情報検索

(ア) 蔵書検索 OPAC サービス

① ユーザ ID を取得すると、貸出延長・予約をインターネット・携帯電話から行うことができる。

④ 電子的資料

(ア) 電子ジャーナル等リモートアクセス ID の提供

① CiNii サイトライセンス個人 ID の利用 (大学キャンパス内のパソコンから申請)

② サイエンス・ダイレクトリモートアクセスサービスの利用 (申込書を附属図書館に提出)

⑤ 館内施設

(ア) 館内資料の複写

(イ) 館内施設の利用申込 (研究個室・グループ学習室・演習室)

⑥ その他のサービス

(ア) 学生図書リクエスト

① 研究・学習に必要な資料を附属図書館 (本部) 配架資料として備えている。

(イ) 参考調査申込

⑦ オンラインサービス

(ア) 貸出中図書の確認

① 現在、借用中の図書を確認する。

(イ) 返却期限の延長

(ウ) 貸出中図書の予約 (本部図書館の資料のみ)

(エ) 本部図書館の図書の学習センターへの取り寄せ申込

II. 学習センター

- ① 資料の貸出
 - (ア) 資料の貸出・返却、貸出期間の延長
 - (イ) 資料の問い合わせと予約
 - (ウ) 他学習センター資料利用申込
 - ・他学習センター配架資料を希望する学習センター等へ送付。
- ② 相互貸借
 - (ア) 文献複写申込の受付
 - (イ) 現物貸借申込の受付
 - (ウ) 他大学図書館利用申込
- ③ 情報検索
 - (ア) 蔵書検索 OPAC オンラインサービス
- ④ 電子的資料
 - (ア) 電子ジャーナル等リモートアクセス ID の提供
- ⑤ 館内施設
 - (ア) 学習センター資料の複写
- ⑥ その他のサービス
 - (ア) 学生図書リクエストの受付
 - (イ) 参考調査申込

III. 遠隔地在住者に対するサービス

- ・ 全国50箇所の学習センターに図書室を設置し、学習を進める上で必要な図書及び雑誌を置いている。図書は、大規模な学習センターには約4万冊、小規模な学習センターには約3千冊を置いており、雑誌も規模により10誌～30誌と異なっている。毎年200～300冊を各センターに配架している。
- ・ 図書については、利用者の求めに応じて附属図書館と各学習センター間で相互利用を行っている。郵送に係る経費は、大学で支弁している。自宅までの配達の場合は、利用者負担で送付している。返却も郵便などで直接送り返すことも可能となっている。
- ・ 全国7箇所にサテライトを設置しているが、基本的な辞書辞典類にとどめている。
- ・ 学生のリクエスト（図書の予約、延長など）は、インターネットにより行うことが可能となっている。

UK OU (英)

I. 附属図書館

- ① 資料の貸出

オンラインサービスが基本であり、図書の貸出も自動貸出返却装置が3台設置してあり、セルフサービスにより行う。
- ② 相互貸借
 - (ア) 文書配達サービス

文書配達サービスはOUライブラリーにはない資料へのアクセスを可能にするサービスで、サービス自体は無料だが、延滞や紛失の際には料金が発生する。

③ 情報検索

(ア) 図書館ツールボックス

ソーシャルネットワーキングやシェアリングを促進するウェブベースのサービスを実現するためには Web2.0 が使われている。図書館サービスは様々な Web2.0 ツールを発展させており、新しいツールは利用可能になるとすぐウェブページに反映される。どのようにすればもっと便利になるかをフィードバックすることによってツールの発展に貢献できる。

④ 電子的資料

(ア) EthOS：大英図書館からの新たなサービス

⑤ 館内施設

(ア) ライブラリーチュートリアル

・図書館コースと研究会

OU 図書館は OU 教育職業開発趣意書の一部としてたくさんの研究会を提供している。

図書館研究会はウォールトンホールに通うことのできる全ての OU スタッフと学生に開かれたもので、ウォールトンホールやその近辺を拠点とするスタッフ・研究生は OU スタッフ学習管理システムを経由して研究会の席を予約することができる。

(イ) デジ・ラボサービス

デジラボは図書館一階のクリエイティブスペースで、革新的教育的効果的な学習資料の発展をサポート啓発するようにデザインされている。デジラボはクリエイティブな遊び場で、新しいアイディアの探求や知識シェアを啓発する目的がある。この部屋にはスタッフもあまりよく知らないたくさんのテクノロジーがあり、学習と教授のために、どのように活用するかについてのガイダンスとともにおかれている。デジラボは専門の発展を助け、現在行っていることと未来の目標との間のギャップを埋めることを目指している。

デジラボは講師、博士課程の学生を含む OU スタッフの全てのメンバーが図書館開館時間中ならいつでも利用することができる。デジラボは誰もが立ち寄ることのできるオープンスペースで、今のところ予約貸切をすることはできない。それは人々がデジラボを動き回って他の利用者と交流することを促進しているからである。しかし大人数のグループが部屋にいることになる場合にはデジラボウェブサイトのカレンダーにイベントを追加している。最新資料について記載しているデジラボブログもある。

⑥ その他のサービス

(ア) 備品貸出

デジラボの教育テクノロジーを利用できるのと同様に、ミルトンキーンズエリアの OU スタッフとフルタイムの博士課程の学生は図書館から備品を借りることができる。この備品はテクノロジーがコースを教える際の柔軟性をどのように高め、また学習経験を豊かにさせるかを調査することを目的としている。

IT 装置貸し出し状況

ラップトップ	152
聴覚補助装置	0
ボイスレコーダー	21
プレイステーションポータブル	6
ゲームボーイ	0
i-Pod シヤッフル	12
i-Pod フォト	16
i-Pod ビデオ	1
i-Pod タッチ 8 B	5
デジタルカメラ	1
ワイアレスアクセスセットアップ CD	0
PDA	10
任天堂 Wii	1
Wii コントローラー	92
XBOX 2 ゲームコントローラー	1
任天堂 DS ライト	13
プレイステーション 2 コントローラー	3
PS3 コントローラー	5
プレイステーション 3 コントローラー	10
Germin Etrex GPS	33
JVC Everio ードディスクカムコーダー	31
デジタルビデオカメラレコーダー	4
ソニーVCT-R640 三脚	24
ヘッドフォン	686
カセットレコーダー	1
ダンスマット	0
USB ポータブルディスクドライブ	27
Zoom H4 デジタルオーディオレコーダー	19
Eee OC	14
ソニーE-book リーダー	5
XBOX360 コントローラー	4

貸出総計 968

(イ) Elluminate を介したライブ・オンライン・チュートリアル

図書館サービスはウェブ会議ツールである Elluminate Live!を利用して全ての OU スタッフと学生にライブ・オンライン・トレーニング・セッションプログラムを提供している。これは人と人が実際に会うトレーニングに参加できない人でも、ライブで指導教官と話ができるようにと作られたオンライン版トレーニングシステムである。

II. 遠隔地在住者に対して

- ① 文書配達サービス
- ② メタデータ・サービス

OU 図書館は全ての OU スタッフとプロジェクトが利用可能なメタデータ・サービスを提供している。メタデータとは以下の目的に使うデータである。

- ・ 情報を記述、構築、処理、管理するため。メタデータは食品のラベルから雑誌のテレビリストまで私たちの身の周りのあらゆるところにある。
- ・ 検索の効率性を上げ、再利用の際に資料を見つけやすくするため。
- ・ 画像や、ジャバアプレット、マルチメディアのような自然言語や全文検索ではうまく検索できない資料へのアクセスを可能にするため。
- ・ 利用者が資料自体には現れない潜在的、あるいはそれに関連した概念的な言葉を用いながら検索したりブラウズしたりできるようにするため。
- ・ 検索エンジンに優先順位を持たせるため。利用者がより関係性の強い資料を最

初に見つけることができる。メタデータは新しいデータであるほど上のほうにランクされる。

OUは相互操作性の向上、所蔵品の再利用や修復を助けるメタデータの必要性を認識し、外部パートナーからの要請やシステムといった視点からメタデータの必要性が考えられてきた。大学は事業内容マネジメントシステム(ECM)を開発している。これは所蔵品を識別・管理し、OUバーチャル学習環境への資料送信を容易にするものである。OUがスタッフに提供しているメタデータに関する情報は以下。

- ・ メタデータとは何か、メタデータが大学にとって何を意味するのかについての情報とヘルプ
 - ・ 大学メタデータ指針についての情報と、準拠についてのヘルプとアドバイス
 - ・ それぞれのプロジェクトに応用できるメタデータの基準に関するチーム、グループ、プロジェクトへのアドバイスとヘルプ
 - ・ 大学委員会やワーキンググループへの提示を通して戦略的レベルでのメタデータの開発へのアドバイス
- ③ EthOS：大英図書館からの新たなサービス
- ア) 大英図書館はイギリスの博士論文へアクセスするための新たなサービス EThOSを開発している。これは広範囲にわたるイギリス博士論文の公開全文へのアクセスを可能にするものである。
- ④ Elluminate を介したライブ・オンライン・チュートリアル

KNOU (韓)

I. 附属図書館

① 資料の貸出

(ア) 中央図書館所蔵資料の自宅配送貸出

(イ) 電話、ファックス、メールなどによる貸出及び複写依頼

図書館への訪問をせず利用者が求めるところから必要な資料(貸出およびコピー)を届けてもらうサービス利用しようとする資料が他の地域大学図書館所蔵資料である場合に申請するサービス

・ 貸出およびコピー申請

(1) 電話、ファックス、イーメールなどで申請

(2) 中央図書館ホームページ ⇒図書館サービス ⇒貸出/文献コピー申請 ⇒書込み

・ 文献コピーサービス：中央図書館のみ実施(中央図書館所蔵資料に限る)

(1) サービス実施：2007年1月

(2) 資料所蔵地域大学から貸し出し申請者住所に郵便もしくは宅配便発送(発送費用及びコピー代は申請者負担)

② 相互貸借

(ア) 文献複写

(イ) 現物貸借

(ウ) RISS (Research Information Service System) を使った相互貸借の申込

放送大学図書館にない資料を他機関にコピー・貸出を依頼できるサービス。韓

国教育学術情報院（KERIS）で運営する RISS(Research Information Service System)相互貸出システムを通して、全国大学所蔵資料統合検索および資料申請、国内学術情報デジタル原文サービスを利用できる。

- ・サービス内容
 - (1) 自館未所蔵資料貸出およびコピー申請
 - (2) 国内及び海外学術デジタル原文利用
 - (3) 国内未所蔵学術誌および学位論文利用
- ・利用方法
 - (1) 利用者がKERIS(<http://www.riss4u.net>) ホームページを通して必要な資料貸出および文献コピー申請
 - (2) 自館利用者承認
 - (3) 資料所蔵機関から利用者住所に該当資料発送
 - (4) 大学間月一回費用清算（発送費用及びコピー代は申請者負担）

II. 遠隔地在住者に対して

- ① 中央図書館所蔵資料の自宅配送貸出
- ② 電話、ファックス、メールなどによる貸出及び複写依頼
- ③ 中央図書館資料の文献複写サービス

7) 施設・設備

OUJ (日)

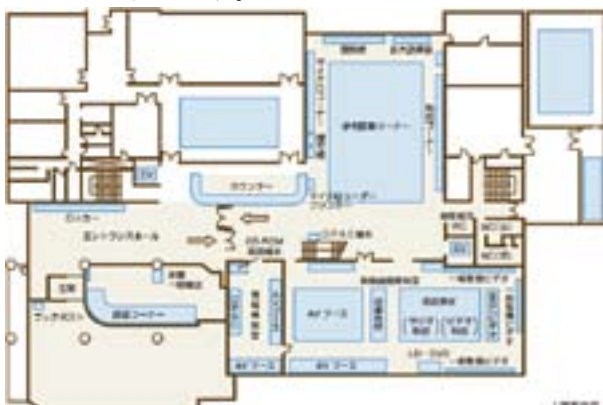
本部図書館

(概要)

1990年3月 本館竣工 地上3階 (5,302㎡)

2000年3月 保存庫竣工 地上3階 (4,25㎡)

- 学生、教職員をはじめ一般の市民の方々も利用できます。
- 入館管理装置がありますので、学生証、職員証が必要です。一般の方はカウンターで申し込みを行います。



- 情報検索室
OPAC および各種電子ジャーナル・データベースへのアクセスができます

- 映像音響資料室
開講中の放送教材 (DVD, CD, VHS テープ、音声カセットテープ) の視聴ができます。視聴ブース73人分

- メインカウンター
資料の貸出返却、参考調査、文献複写など各種サービスを提供しています。

- 所蔵資料
一般図書約31万冊、雑誌約1,400タイトル (学習センター所蔵約44万冊)

- 研究個室
学内利用者用 (5室)

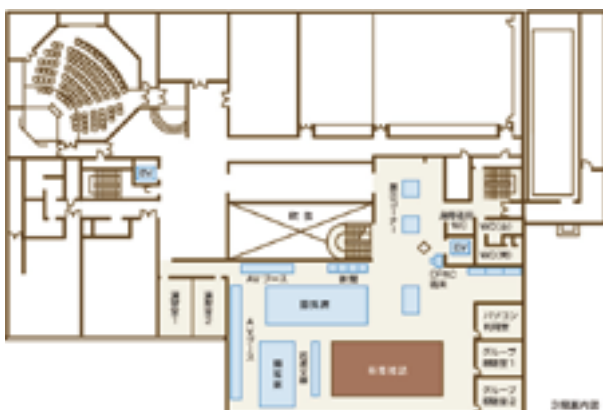
- 美術書コーナー
大型の図書とゆったりした閲覧席

- 新着雑誌
継続雑誌 (和洋約550誌) を配架

- パソコン利用室
持込のパソコンを利用できます。

- 展示コーナー
貴重な所蔵資料を公開展示しています。

- 演習室・グループ視聴室
複数人で利用するための施設で、各2室あります。ビデオ視聴設備も設置してあります。



●OU 図書館の見取り図

* 図書館内設備の詳細データに関しては 2008 年統計の欄を参照のこと。



●コンピューター設備

OU のスタッフ、学生、地元コミュニティのメンバーが教育目的で利用することのできるパソコンが全てのフロアに設置されている。1 階と 3 階のパソコンのいくつかは OU 中央学会と地方スタッフ専用の利用。OU 図書館は他の大学からの学生も歓迎し、パソコンの使用は以下の条件による。

- ・ スタッフのメンバーと外部利用者の管理用コンピューターコード
- ・ OU 学生の管理用コンピューターコード

図書館のコンピューター設備を利用するためには、スタッフとフルタイム研究生はカスタマーサービスデスクで発行されるセキュリティカードとパスワードが必要。学生と外部利用者はカスタマーサービスデスクで登録する必要があり、そこで図書館カードとパスワードを発行してもらえる。

全ての利用者はインターネットとマイクロソフトオフィスが使える。公共アクセスにおける全てのインターネット操作は監視されている。

●Wi-Fi 設備

図書館中で Wi-Fi が利用可能である。OU のスタッフと学生が接続するためには OU のユーザーネームとパスワードを使って接続できる。他の利用者はカスタマーサービスデスクで接続の登録をする必要があり、その際 ID 証明と自宅住所の提示が要求される。

●コピーと印刷

全てのコピーと印刷は著作権規則による。コピー機とプリンターは 1 階の印刷室にあり、学生と外部利用者はコピーと印刷の際料金を払う必要がある。

●学習室

5つの学習室が個人学習のために利用可能です。鍵はカスタマーサービスデスクにあります。研究学習室はOUのスタッフと研究生であれば利用可能です。

●会議室

OUスタッフであれば会議室を予約することが可能。多くの会議室には大きなスクリーン、天井吊り下げデータプロジェクター、ホワイトボードがある。

●図書館 IT 装置貸し出し

キャンパスを拠点、もしくは地元に住んでいるOUスタッフ、講師、OUの大学院生であればIT装置を借りることができる。利用するためには図書館で登録をし、キャンパスを拠点にしているかミルトン・キーンズ近くに住んでいることが条件。全ての装置は2週間までの期間貸し出しが可能。

●所蔵図書

OU図書館はオンライン所蔵図書、データベース、マルチメディア、印刷資料へのアクセスを提供している。OU図書館資料と所蔵図書は以下。

- ・多数のジャーナルへのオンラインアクセス
- ・図書館目録の中には20万冊を超える本と2500の印刷ジャーナル
- ・OUの大学院生と学生プロジェクトによって制作された論文
- ・OUコース資料
- ・職業、ITスキル、職員開発の資料
- ・OUアーカイブ

	所蔵の内訳	
	目録にある所蔵図書の合計数	アーカイブとマニユスクリプト
03-04	226,303	184
04-05	194,010	271
05-06	196,894	409
06-07	201,008	460
07-08	202,645	635

KNOU (韓)

●施設現況

中央図書館

区分	利用資料及び装備	備考
書庫 (1階)	国内・外単行本、非図書	
情報資料室 (2階)	国内単行本、国内雑誌、教材	
学術情報検索室	1階	障害者席1席、ビームプロジェクター、コンピュータ33台、スキャナー2台、プリンター1台、コピー機1台、DVD1台
	2階	コンピュータ24台、プリンター1台、コピー機1台、DVD5台、ノートPC専用5席
一般閲覧室 (3、4階)	自由学習席300席	
研究資料室 (第一研究棟1階)	西洋書単行本、国外学術誌、国内学会誌、教材、海外遠隔大学資料	

地域大学、学習センター及び市・郡学習館図書室

- 蔵書 : 単行本及び教材、国内雑誌
- 閲覧室 : 一般閲覧室および資料閲覧室に区分
- 利用者PC : 地域大学128台、市・郡学習館170台
- 閲覧室座席数 : 地域大学2, 509席、市・郡学習館1, 190席

● 図書館資料現況

単行本

2009/7 現在

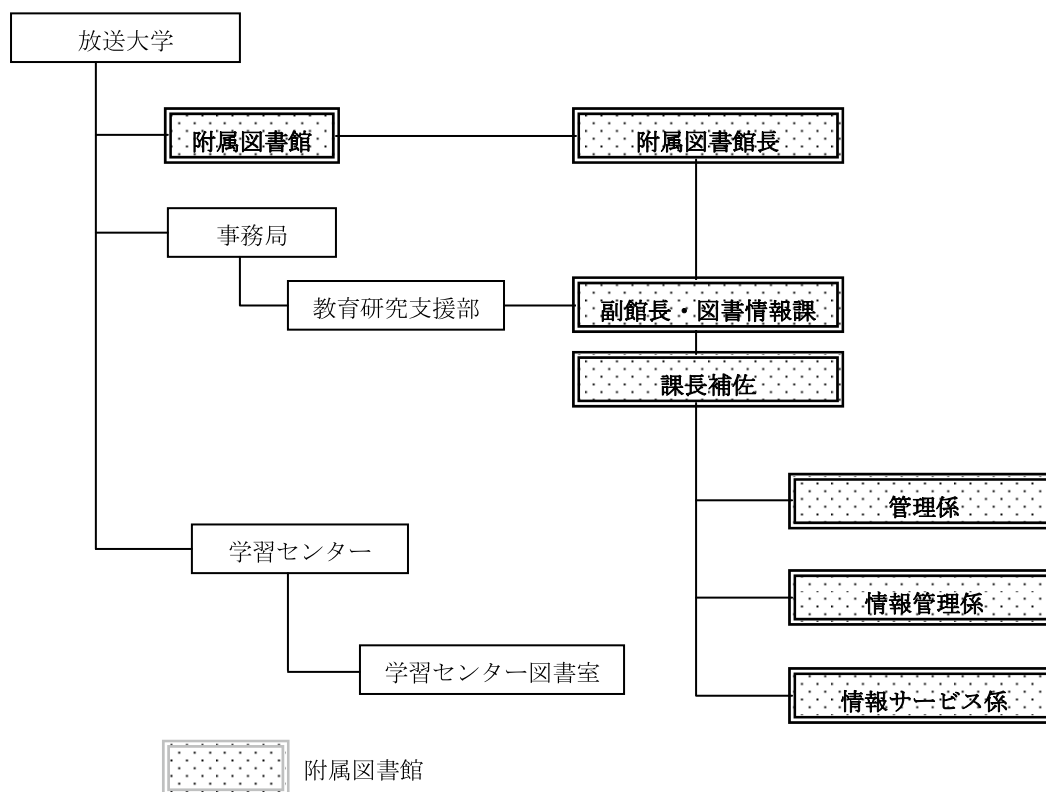
資料区分	中央図書館	地域大学			計	備考
		地域(13館)	市・郡(33館)	小計		
国内書	189,857	386,699	195,892	582,591	772,448	
国外書	77,111	1,370	325	1,695	78,806	
非図書	8,130	2,205	40	2,245	10,375	
計	275,098	390,274	196,257	586,531	861,629	

地域大学 : 1館当たり 30,000 余冊所蔵

市・郡学習館 : 1館当たり 6,000 余冊所蔵

8) 組織と職員数

OUJ (日)

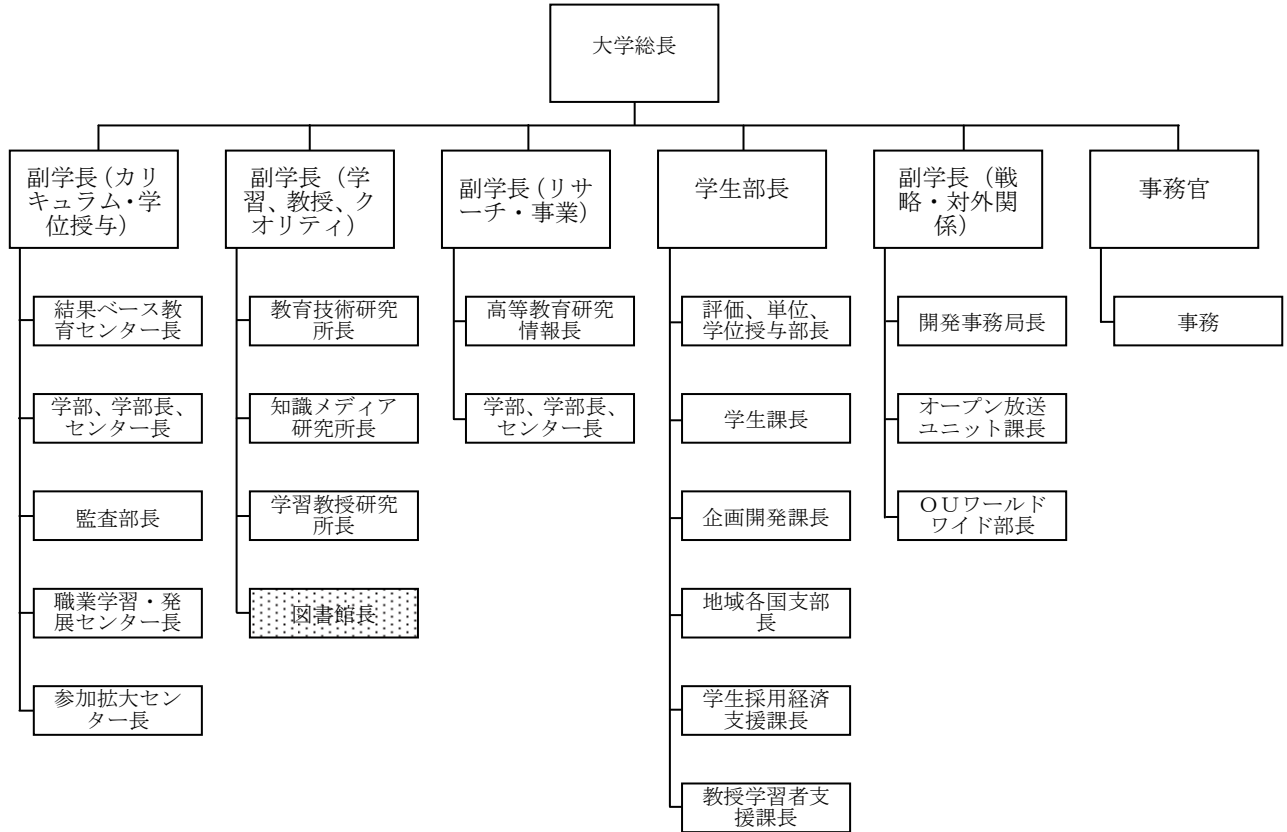


● 附属図書館の職員状況

常勤職員 7名 (有資格者6名) 非常勤職員 7名 (有資格者4名)

図書館職員のほとんどは司書資格を有しているが、管理部門の職員は一般職となっている。

技術職員は他の部門に配置されており図書館の職員ではない。



● 図書館スタッフ

・ カスタマー・サービス部

このチームは図書館カウンターで全ての図書館訪問者へのサポート業務を担当。主な業務内容として新たな利用者の登録手続き、図書館の所蔵資料の貸し出し返却の手続きと棚の管理。このチームは文書配達サービスも担当。

・ 情報・知識管理部

このチームは電子的、物理的両方のフォーマットを含むOUの情報の組織化と管理を担当。この業務は学術ジャーナル、電子書籍、データベースのような第三組織の持つコンテンツの取得、使用許可、管理、文書や記録の管理、アーカイブサービス、ビジネス情報や知識の管理を網羅。

・ 図書館学習・教授サービス部

このチームのスタッフは主に以下の5つのエリアで仕事をしている。学部間の連絡。OUのコースチームと協力し図書館の資料と情報技術を統合してカリキュラムの中に入れる取り組み。ヘルプデスクのサービスを学生やスタッフに提供。図書館のオンラインや印刷書物の所蔵資料の展開。OUのリサーチ所蔵庫の管理やリサーチのサポート。

- ビジネスサービス部

このチームは図書館スタッフや利用者に様々なインフラサービスを提供。このチームの業務は人事管理、IT サポート、プロモーション・マーケティング、設備管理、ビジネス事務、秘書業務を含む。
- ビジネス開発部

このチームは4つのエリアで仕事をしている。パートナーシップ・プロジェクトの中での活動を通して、パートナー団体へのサービスを開拓している。また OU 地域のセンターへの意見や M25、SCURL、SHELF のような地域図書館司書コンソーシアムへの参加を含む地域事業を行っている。さらにミルトン・キーンズ学習市民図書館ネットワークを通して地元ミルトン・キーンズコミュニティでの図書館サポートや、図書館サービスの戦略的マーケティングを行っている。
- 戦略的サービス開発部

このチームは図書館サービスの大半の開発事業を行っている。Safari チュートリアルのような OU 2. 0 情報リテラシー開発のようなプロジェクト、デジタル研究室のような学習資料の革新的な使用に関するサポート業務、PROWE のような内外両方の資金提供を受けたりサーチプロジェクトがある。このチームは大学内部のバーチャル学習環境や事業内容管理プログラムにも貢献している。

●図書館が現在行っているプロジェクト

- 戦略的サービス開発部
 - ー図書館ウェブサイトプロジェクト

学生やリサーチャー、スタッフといったユーザー中心の革新的サービスを探り提供することを目的とした OU コミュニティのための新しい図書館ウェブサイト開発プロジェクト。
 - ーOUVLE (OU バーチャル学習環境)

Moodle をベースとしたバーチャル学習環境を実現するための全学プロジェクト。
 - ーSafari

学習と教授のニーズにあった学習教材を発展させるプロジェクト。
 - ーStandards

オンラインシステムや資料の相互操作可能な使用の促進を目指す全学プロジェクト。
- ビジネス開発部
 - ーパートナーシップ

OU の資料を必要とするパートナー団体にも電子図書館を提供する取り組みへの第一歩として、図書館サービスはオンライン公開資料を拡大させています。現在行っているのは以下の二つの試みです。

 - 公開学習に含まれる公開オンライン資料を含む情報技術
 - パートナー団体へのサポートサービス
- アラブ OU

電子資料やヘルプデスクサービスを含む電子図書館を学生に提供しています。図書館はアラブ OU にウェブサイトリンク、Safari、ガイド、ヘルプシー

トを含む公開電子資料を提供しています。また2010年まで電子メールを利用したアドバイスやサポートサービスを学生ヘルプデスクに提供しています。

- 公開電子資料

パートナー団体が無料で利用できる資料を研究・作成しています。公開電子資料のリストはパートナー団体へのサポートサービスページで見ることができます。

- 情報・知識管理部

- 事業内容管理 (ECM)

事業内容管理システム Documentum を実現する全学プロジェクト。

- OU フット・ステップス

OU の学習・教授内容の大規模デジタル化の可能性を調査するプロジェクト。

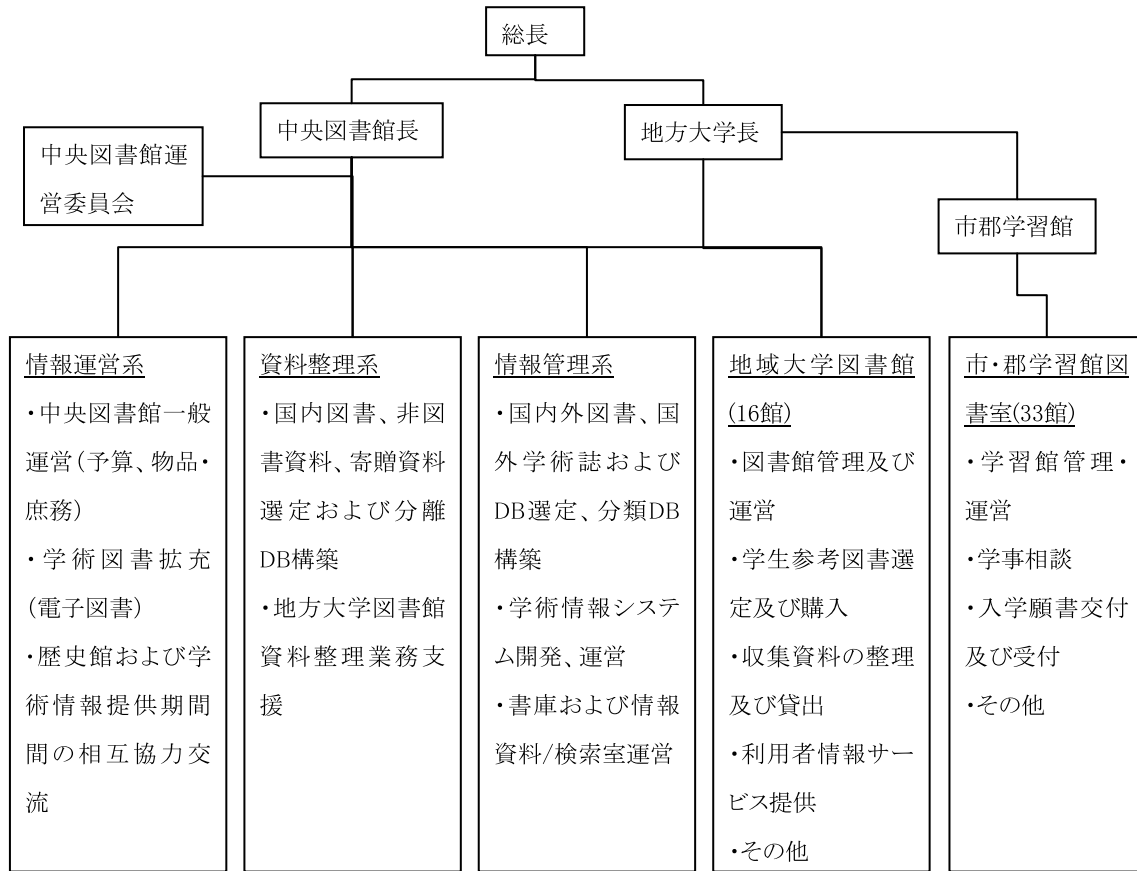
- オーラル・ヒストリー (歴史口述)

OU の遺産を記録するためのプロジェクト。オーラル・ヒストリーインタビュー技術を使って OU 生活での個人の記憶や経験を広く集めています。

職員数						
年度	専門職	その他の職	図書館職員合計	補助職員合計	プロジェクトごとのスタッフ	職員合計
	FTE	FTE	FTE	FTE	FTE	FTE
03-04	53.5	36.6	90.1	0.0	0.0	90.1
04-05	49.0	37.9	86.9	7.5	0.5	94.9
05-06	56.9	40.2	97.1	3.9	1.5	102.5
06-07	59.5	33.4	92.9	9.1	1.0	103.0
07-08	63.4	32.4	95.8	6.0	10.2	112.0

職員費用 (£)						
年度	専門職	その他の職	図書館職員合計	補助職員合計	プロジェクトごとのスタッフ	職員合計
03-04	1,548,239	644,470	2,192,709	0	0	2,192,709
04-05	1,510,660	610,321	2,120,981	324,897	7,563	2,453,441
05-06	1,742,693	697,302	2,439,995	166,157	59,616	2,665,768
06-07	2,071,206	718,537	2,789,743	191,047	34,534	3,015,324
07-08	2,287,367	677,120	2,964,487	177,010	19,221	3,160,718

KNOU (韓)



※ 地域大学図書館には地域大学の学習センター(3館)を含む。

※ ソウル地域大学からは学習センター(3館)および市・郡学習館(2館)図書室を運営管理し、その他地域大学からは市・郡学習館を運営管理する。

職員

区分	中央図書館				地域			合計	備考
	情報運営系	資料整理系	情報管理系	小計	地域(16館)	市郡(33館)	小計		
一般職(司書)	6級	1	1	1	3	5	-	5	8
	7級	1	1	1	3	3	-	3	6
	8級	-	-	1	1	2	-	2	3
技能職	司書	2	1	1	4	5	-	5	9
	一般	-	-	-	-	1	2	3	3
学事管理職	司書	1	1	2	4	8	3	11	15
	一般	-	-	-	-	7	27	34	34
計	5	4	6	15	31	32	63	78	

9) 運営費 (図書、雑誌、電子ジャーナル、施設管理費など)

OUJ (日)

図書館運営関係経費 (2008年度)

区 分	予算額 (単位：千円)	備 考
図書購入費	50,927	大学院図書、二次資料を含む
学術雑誌購入費	20,050	
管理運営費 (庁費・旅費)	833	
雑役務費 (印刷費・消耗品費・複写機借料等)	19,508	電子ジャーナル経費 (3,959千円) を含む
合 計	91,318	

図書・学術雑誌購入予算

(単位：千円)

年度 区分	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
本 部	96,679	77,545	59,056	51,009	44,127	41,454	39,654
学習 センター	57,936	64,694	53,121	50,415	37,003	31,323	31,323

UK OU (英)

		情報費用 (£)							
	書籍と 非書籍 資料	逐次刊行物購読				逐次刊行物を含む電子資料			
		合計	印刷物 のみ	電子資 料のみ	印刷と 電子資 料	合計	デー タ ベース	e-books	その他
03-04	117,503	1,009,797	527,644	97,025	385,128	401,751	383,500	16,205	2,046
04-05	188,347	1,139,702	560,178	214,898	364,626	503,680	372,933	128,434	2,313
05-06	135,745	1,224,854	596,803	175,910	452,141	608,412	522,321	85,203	888
06-07	105,812	1,426,131	585,105	317,394	523,632	664,883	552,505	110,594	1,784
07-08	93,655	1,448,666	630,824	263,287	554,555	825,541	682,011	137,638	5,892

	情報費用 (£)			装置費用合計 (£)
	製本と保存	図書館相互 間利用	合 計	
03-04	2,968	63,074	1,595,093	165,955
04-05	2,923	71,591	1,906,243	244,836
05-06	3,459	46,589	2,019,059	285,944
06-07	868	49,066	2,246,760	182,462
07-08	113	24,392	2,392,367	196,759

	その他の運営費 (£)			図書館費用総計 (£)
	内部取引費用	その他	合 計	
03-04	30,578	404,317	434,895	4,388,652
04-05	5,879	266,065	271,944	4,876,464
05-06	5,895	300,006	305,901	5,276,672
06-07	0	255,067	255,067	5,699,613
07-08	2,436	506,536	508,972	6,258,816

	収入 (£)				実質費用 (£)	費用総計 (£)
	助成金	その他の収入		収入合計		
		内部	外部			
03-04	4,272,000	55,599	3,304	4,330,903	4,329,749	316,172,000
04-05	4,960,623	8,830	11,351	4,980,804	4,856,283	328,492,000
05-06	5,262,125	8,229	46,366	5,316,720	5,222,077	343,200,000
06-07	5,613,264	14,795	91,033	5,719,092	5,593,785	363,700,000
07-08	6,271,211	10,154	49,588	6,330,953	6,199,074	388,400,000

●研究資金

研究費を提供している団体

図書館は二つの研究費データベースへのアクセスを提供している。

- ・ リサーチ・リサーチ
 - リサーチニュースと研究費を得られる機会に関するデータベース。利用者がスポンサーや専門分野ごとのニュース、研究費援助に関する Email アラートをセットアップできる。研究者やサポートスタッフは Email アラート用のプロフィールを作るためのパスワード登録をすることができる。
- ・ 科学コミュニティ (COS)
 - 研究者のプロフィールをシェアすることを可能にし、研究費援助の機会に関する最新の情報を検索できる。

研究費に関する便利な情報を得られるサイトへのリンク

- ・ 高等教育研究機会ウェブサイト
- ・ 研究評議会 UK
- ・ イギリス・ウェールズ高等教育基金評議会

研究基金への応募

リサーチスクール：OUの許可契約チームイントラネットは基金への応募手順とガイドラインへのリンクを張っている。リサーチスクールによって管理され、研究費や資金援助を探す際のアドバイスが記載されている。

KNOU（韓）

● 図書館拡充予算

（単位：千ウォン）

区分	合計	造成						国庫 中央図書館	備考
		計	中央図書館		地域大学				
			小計	本部	小計	地域	市郡		
単行本	462,240	225,000	-	-	225,000	144,000	81,000	237,240	
非図書 (マルチメディア)	185,000	50,000	50,000	50,000	-	-	-	135,000	
電子図書	160,000	160,000	160,000	160,000	-	-	-		
国内外学術DB	303,000	303,000	303,000	303,000	-	-	-		
国内外学術誌	183,000	183,000	183,000	183,000	-	-	-		
連続刊行物	92,400	92,400	25,200	25,200	67,200	40,200	27,000		
E-CIP	6,000	6,000	6,000	6,000	-	-	-		
合計	1,391,640	1,019,400	727,200	727,200	292,200	184,200	108,000	372,240	

※) 中央図書館：MARC及び目次購入費除外

（単位：千円）

区分	合計	造成						国庫 中央図書館	備考
		計	中央図書館		地域大学				
			小計	本部	小計	地域	市郡		
単行本	36,055	17,550	-	-	17,550	11,232	6,318	18,505	
非図書 (マルチメディア)	14,430	3,900	3,900	3,900	-	-	-	10,530	
電子図書	12,480	12,480	12,480	12,480	-	-	-		
国内外学術DB	23,634	23,634	23,634	23,634	-	-	-		
国内外学術誌	14,274	14,274	14,274	14,274	-	-	-		
連続刊行物	7,207	7,207	1,966	1,966	5,242	3,136	2,106		
E-CIP	468	468	468	468	-	-	-		
合計	108,548	79,513	56,722	56,722	22,792	14,368	8,424	29,035	

※) 中央図書館：MARC及び目次購入費除外

10) 電子ジャーナルとデータベースの利用と管理

OUJ (日)

- ScienceDirect (約 1,000 タイトル)
- JSTOR (50 分野 : 175 タイトル)
- SpringerLink (1,250 タイトル)
- 日経 BP 記事検索サービス (41 タイトル)
- Japan Knowledge (35 コンテンツ)
- Net Library (363 タイトル)
- 聞蔵 II : 朝日新聞オンライン記事 DB
- CiNii (国立情報学研究所)

UK OU (英)

- Academic Search Complete
約 6,000 の全文定期刊行物、5,000 以上の批評、10,000 のジャーナル本を含むデータベース
- ACM Digital Library
- American Chemical Society (ACS) journals
1895 年からの ACS 全文を提供し、アーカイブへのアクセスも含む。
- American Institute of Physics journals
- American Physical Society journals
Physical Review Online Archive は 1893 年の刊行当時からのジャーナルへアクセス
- Bentham Open Access
200 以上の批評へのオープンアクセスジャーナル。
- BioMed Central
180 以上の医学系批評へのオープンアクセス
- British Periodicals
- Business Source Complete
- Cambridge Journals
170 タイトルへのアクセス
- Chemistry Central
- Communication and Mass Media Complete
60 以上の出版物への全文アクセス
- Directory of open access journals (DOAJ)
1,500 以上の学術ジャーナルへのアクセス
- ECO : electronic collections online
7,000 以上のジャーナルタイトルへの全文アクセス
- Electronic library of mathematics
40 の数学ジャーナルへの全文アクセス
- Emerald fulltext
1994 年以降のジャーナルへの全文アクセス

- Free Medical Journals
1,200 以上の医学ジャーナルへのアクセス
- GeoScienceWorld
- HighWire
- IEEE Xplore
1952 年以降のジャーナル、トランスクリプション、マガジンなどへのアクセス
- IIMP full text
430 を超える国際音楽定期刊行物、1874 年以降の 120 タイトル以上の全文アクセス
- IMechE proceedings archive, 1847-1996
- Informaworld online journals
- IngentaConnect
26,000 以上の出版物のデータベース
- Internet library of early journals
デジタル化された 18、19 世紀のジャーナル
- Internurse
9,000 以上の看護科系記事のデータベース
- Intute : science, engineering & technology e-journals search engine
350 の数学工学系ジャーナルへの全文アクセス
- IoP electronic journals
- JSTOR Ireland Collection
- JSTOR
460 のコア学術ジャーナルのアーカイブ
- Lawrence Erlbaum online
- Locus SIAM
- MetaPress
- Nexis UK
- Nineteenth-Century Serials Edition
- Oxford Journals
190 のジャーナルコレクション
- Periodicals Archive Online
200 以上のジャーナルへのアクセス
- Project Muse
145 のジャーナルへの全文アクセス
- PsycARTICLES
25,000 の全文記事と 40 のジャーナル
- Regional business news
75 のビジネスジャーナル全文アクセス
- RSC journals
- Sage journals online
- Science Direct
1,000 以上の科学系ジャーナルへの全文アクセス
- SIAM journals online
- SPORTDiscus

415 以上のスポーツ系ジャーナルへの全文アクセス

- SpringerLink journals
医学、数学、科学系ジャーナルへのアクセス
- SwetsWise
3,500 以上のジャーナルコレクション
- Welsh Journals Online
2009 年 9 月までに 50 タイトルを予定
- Wiley Interscience
900 以上の電子ジャーナルと 190 以上の電子ブックを提供

●研究サポート

図書館は総合的なサポートを研究者に提供できるように学部事務、コンピューターサービス、そして研究スクールと協力し合って活動しており、15,000 以上の電子ジャーナルタイトルの全文にアクセスできる電子データベースのコレクションがある。図書館は以下を提供している。

- 25 万冊を超える書籍、2,500 以上の印刷ジャーナルと OU 博士論文。
- 全ての新しい博士課程スタッフと研究生への学習・教授図書館司書による図書館の紹介。
- 文学サーチの更なるトレーニングと専門化したアドバイス。情報スキルをアップデートするためには一般トレーニングセッションへの登録を行ってください。
- 専門図書館スタッフからの 1 対 1 サポート
- 現代的な図書館ビルと OU の研究者が本を置けるロッカー付学習室
- OU 図書館にない資料へのアクセスを可能にする文章配達サービス。書籍、ジャーナル、カンファレンスペーパー、特許、論文、技術的レポートを含む。
- SCONUL アクセススキームを介したほかの大学図書館へのアクセス

●関係書目の管理

関係書目ソフトウェアは参考文献を電子的に記録管理し、様々なスタイルで自動的に関係書目を作成。OU は二つの関係書目管理パッケージをサポート。

- EndNote
- RefWorks

EndNote

- 参考文献を組織化、保存、管理する
- 関係書目を自動的に作る
- データベースや図書館目録から参考文献を直接インポートする

RefWorks

- テキストファイルやオンラインデータベースから参考文献をインポートする
- RefGrab-It ツールを使って自動的に参考文献をウェブページに追加する
- 関係書目を自動的に作る

KNOU (韓)

●国内学術 DB

このサービスは、本部および地域大学内の PC (または指定 PC) のみ利用が可能であり、主要国内学術 DB の場合 “統合検索” を通して校外からの原文検索閲覧が可能となる。

番号	DB 名	内 容	備考
1	KISS (韓国学術情報)	国内 1000 余学会の学会誌 DB の原文 (Full-Text) を利用できる	「統合検索」へリンク
2	DBpia(ヌリメディア)	国内 300 余学会の 640 余学会誌 DB の原文 (Full-Text) を利用できる	「統合検索」へリンク
3	e-article(学術教育院)	国内 350 余学術団体の 500 余種ジャーナルの原文 (Full-Text) を利用できる	「統合検索」へリンク
4	学志社ニュー論文	教育学、幼児教育、特殊教育、社会福祉、心理学、余暇学、美容学など 40 余学会誌の論文検索および原文サービス	「統合検索」へリンク
5	ロエンビ法律情報サービス (2009 年新規)	国内最大の専門法律情報ポータルサイト法令情報 (現行：4,900 余箇、沿革：74,000 個)、判例情報 (15 万件)、行政資料 (13 万余件)、各種文献 (注釈書、学会論文、国家試験系、雑誌など 90 万件)、税務情報 (85,000 件)、法曹人情報 (2 万名)、企業法務情報 (4,500 件)、生活法律情報 (7,000 件)、法律ニュース (7 万件)、訴訟ガイド (334 件) など全域に渡る情報提供	「統合検索」へリンク
6	韓国学電子資料	韓国民族文化大百科事典を含む総 36 種の韓国学電子資料の原文を利用することができる このサービスは本部および地域大学内の指定 PC のみ原文検索が可能	
7	韓国学データベース (Web-Book ヌリメディア韓国学 DB)	・高麗史、三国史記、三国雜事、東国理想国集、發海史、増補文献備考、牧民心書、大典回通、韓国民俗館、Digital 韓国史などの国学資料に対して原文 (Full-Text) を利用できる ・ 原文を参照するには各 DB が提供する原文 Viewer を設置するか AcrobatReader を先に設置する必要がある ・ このサービスは、本部および地域大学内の PC (または指定 PC) のみ利用が可能	
8	人文科学分野 DB	歴史、古典文学、近代文学、人文・教養、辞典など総 60 種の人文科学分野 DB 提供 (Web マルチメディア学習ページからも利用可能)	
9	総合法律サービス (法ヌリ)	総合法律サービス (法ヌリ) は大韓民国現行法令、改定法令、立法予告、判例情報、法令情報サービス (法律用語、民事事務処理基準、法律ニュース) に肯定	
10	ブリタニカオンライン世界百科辞典	世界百科辞典、国語辞典検索及び最新用語辞典、ブリタニカ世界年鑑提供 英語版 Britannica Online Service 提供	「統合検索」へリンク
11	韓国現代史著者統合データベース	韓国現代史 Webzine、デジタル北朝鮮百科辞典、デジタル北朝鮮人名辞典など韓国現代史統合データベース提供	
12	国内企業、経済及び株式市場分析 DB (Quantwise)	財務データ、市場データ、経済データ提供及び韓国株式市場軽量分析のためのプログラム支援、国内企業、経済及び株式市場分析用情報提供 (構内指定 PC のみ利用可能)	
13	韓国文化史大系	政治、経済、社会、文化、言語、科学、記述、芸術、宗教、哲学など韓国史全分野に対して趙じふん、金をりょん、趙きじゅんなど韓国の碩学 140 名が体系的かつ有機的に整理した分類史的研究の集大成	

14	日本帝国時代製作資料叢書	日本帝国時代戦争期政策資料叢書は、帝国議会説明資料(1-24巻)、総督関係資料(25-29巻)、皇国臣民化政策(30-48巻)、総動員政策と総動員団体(49-54巻)、徴兵志願兵制度(55-59巻)、日本軍(60-63巻)、警察と思想統制(64-70巻)、産業政策統計資料(71-85巻)、労務動員(86-98巻)に構成	
15	サムスンデザインネット(2009年新規)	サムスンファッション研究所から提供するサムスンデザインネットのオンラインサービスでサムスンファッショントレンド情報および市場動向と展望などファッションリサーチおよび負けーティング情報提供(構内指定PCからのみ利用可能)	

● 国外学術 DB

このサービスは、本部および地域大学内の検索用 PC のみ利用が可能であり、校外から原文閲覧を行う場合は “統合検索” を通す。

DB 名	主題分野	提供			説明	備考
		原文	緑	書誌		
Academic Onefile(Expanded Academic ASAP)	学術全分野	○	○	○	前文/原文 3,706 種 利用マニュアル	
Acs online(American Chemical Society Online)(2009 新規)	科学	○	○	○	アメリカ科学学会から提供するジャーナルの創刊号から最近号までの原文提供	
COS Scholar Universe(2009 新規)	学術全分野	○	○	○	全文研究者情報を含む人名データベース	
Ebscohost Premier(ASP, BSP)	学術全分野	○	○	○	Academic Search Premier : 8,013 種, Business Search Premier : 9,222 種 利用マニュアル	
EBSCOhost ERC	教育学	○	○	○	索引/緑 2,206 種 FullText 2,205 種 利用マニュアル	
JSTOR	学術全分野	○	○	○	原文 165 種 - Business I, II : 92 種 - Mathematics & Statistics 73 種	
P r o Q u e s t	ARL	○	○	○	Academic Research Library 海外学術ジャーナル 原文 2,455 種 利用マニュアル	
	ABI/INFORM Complete	○	○	○	全文/原文 1,889 種	
	Education Complete	○	○	○	索引/緑 652 種中 全文・原文 330 種	
	NewYork Times	○	○	○	紙で提供されるすべてのテキスト記事	
TheWall Street Journals	○	○	○	索引/緑 650 種以上 全文・原文 537 種以上		
Financial times	○	○	○	紙で提供されるすべてのテキスト記事		
DDOD	学術全分野 北米上位 30 位 大学の博士學位論文	○	○	○	Digital Dissertation On Demand 現在 35,999 巻以上の原文データベース サービス全体無制限ダウンロード	

PQDT	全主題分野 修士博士学位 論文	○	○	○	ProQuest Digital Dissertations1,440 余個以上の北米地域、ヨーロッパ主要大 学および学術研究機関からの修士博士 学位論文の書誌および録情報提供 利用マニュアル
SAGE	社会科学分野	○	○	○	経営、経済、教育、歴史、医学、社会 科学分野、の446種のジャーナルに対する 原文提供 本部、ソウル第1,2地域大学構内網の みを通して原文サービス
Socindex Full Test(2009 新規)	社会学および 社会福祉	○	○	○	社会理論、女性学、家族学、犯罪学、児 童および老人問題、福祉サービスなど社 会学及び社会福祉分野全般の専門情報 院
Springer STM(2009 新 規)	技術科学	○	○	○	科学分野の1,202種の単行本およびジャ ーナル、参考図書提供
BIP	単行本情報			○	BIP(Books In Print)出版社情報、図書 情報、単行本書評収録
Ulrich' s	単行本情報			○	定期、非定期刊行物書誌情報収録
Westlaw(2009 新規)	法学	○	○	○	West グループのオンラインリサーチサ ービスであり法律およびビジネス分野 約9,500余種原文提供

11) 教材(図書、雑誌以外:ビデオ、CD,DVD,など)の種類とオンラインによる教材の提供 方法

OUJ (日)

※放送教材・印刷教材 (貸出用を含めて4セット配架中)

[学部]

(開講科目) テレビ:175科目(9,000本)、ラジオ181科目(8,580本)

(閉講科目) テレビ:731科目(11,325本)、ラジオ680科目(10,530本)

(開:特別講義) テレビ:55科目(76本)、ラジオ78科目(85本)

(閉:特別講義) テレビ:464科目(493本)、ラジオ314科目(339本)

[大学院]

(開講科目) テレビ:34科目(1,875本)、ラジオ40科目(2,295本)

(閉講科目) テレビ:32科目(480本)、ラジオ38科目(600本)

現在、ラジオ科目は(120科目)、テレビ科目は(19科目)をインターネットにより提供
している。著作権の問題があり、全ての科目の提供は現在のところ難しい。

インターネット配信による視聴は学生に限り可能であり、一般市民への提供は行ってい
ない。

UK OU (英)

自宅からでも利用できる教材は以下のようなものである。

- 印刷物教材
- 課題図書
- オーディオカセット
- ビデオカセット
- TV 番組
- CD ロム、ソフトウェア
- ウェブサイト
- 自宅用実験キット

障害者には、障害に合わせた代替りの教材が提供される。OU の教材は地域センターでも利用できる。OU スタッフや学生は教材を借りることができ、外部学生もまたいくつかの教材を借りることができる。教材全てが 13 の OU 地域センターにおかれており、また OpenLearn ウェブサイトでも無料で OU の教材にアクセスすることができる。

公立図書館での教材保管は現在はなくなり、また新しい教材はコースが始まるまで地域センターでも入手できない。参考文献は図書館で利用することができる。オーディオや視覚教材を視聴したり、ソフトウェアを使う設備もある。ダウンロードしたり印刷したりできる試験の答案用紙は OU 学生アソシエーションから購入することができる。

KNOU (韓)

放送教材（映像・音声教材）はすべてインターネットによって視聴が可能。
図書館には印刷教材のみ配架されており、放送教材の DVD 等のメディアの提供はない。
図書館での放送教材の視聴は、PC 室の端末によって行う。

1 2) 教材の保存方法

OUJ (日)

- ・ 放送教材は、概ね4年間利用された後に、保存庫に保管される。
- ・ 媒体がカセットテープから CD へ、VHS テープから DVD へ変更されてきているので、予算の範囲でさかのぼって、最新のメディアへ媒体変換して保管している。
- ・ 図書館で保管するものは、貸出リクエストにも応えるため永久保存ではない。このため、他の部署でマスターテープにより永久保存を行っている。

UK OU (英)

図書館と学習教材センターは以下のフォーマットの OU 教材の包括的なコレクションを所有している。

- ・ 印刷教材（現在のものとアーカイブ両方）
- ・ オーディオビジュアル資料（ビデオ、テレビ、DVD、CD、カセット、ビニールレコード、スライド）
- ・ コンピュータソフトウェア（DVD-R、CD-R）
- ・ テレビとオーディオ教材のトランスクリプト
- ・ アーカイブオーディオビジュアル教材（1971年以降のもの）

KNOU（韓）

過去の放送教材を、ストレージシステムにアーカイブしている。

1 3) 資料(学位論文、大学の発行物など)の電子化の状況

OUJ（日）

図書館では放送大学研究年報を毎年刊行しており、1983年の創刊号から許諾のとれた論文をPDFにより提供している。

UK OU（英）

●OU アーカイブ

OU アーカイブは様々なアーカイブ資料を所有し、大学の文書館員によって管理されている。コレクションは、大学の歴史に関する資料、様々な研究分野に関する特別コレクションなど。図書館と学習資料センターもまた OU 教材の完全なアーカイブを保管している。

- ・ Oral History project
- ・ Police collections
- ・ Betty Boothroyd collection
- ・ British Institute of Management archive
- ・ Edward Brech collection
- ・ Fauvel collection
- ・ Geoffrey Vickers collection
- ・ International Centre for Distance Learning
- ・ Jennie Lee collection
- ・ Maureen Oswin collection
- ・ Open University History collections
- ・ Walter Perry collection

●OU 学位論文

- ・ OU 研究論文デジタルアーカイブ（DART）電子版

これは OU 論文の一部を利用可能にし、様々なテーマでの全文アクセスを提供する。

・ハードコピー論文

図書館目録でサーチが可能。論文のいくつかはオンラインで読むことができるが、ほとんどは印刷物コピーで利用可能。

●電子論文オンラインシステム (EThOS)

これはイギリスの論文への無料全文アクセスを提供する。EThOS はたくさんのイギリスの大学との提携の中で大英図書館によって管理されている。

●他の論文サービス

- ・ Index to Theses
- ・ Proquest Dissertations and Theses
- ・ Doctoral Dissertations in Musicology
- ・ ETD Digital Library

KNOU (韓)

大学刊行資料は電子化している 1,550 冊のダウンロードファイルがリスト上で表示されており見ることができる。

韓国放送通信大学の歴史館を整備中であり、放送大学関係の歴史や放送授業の変遷、教科書などが展示されている。

14) その他

OUJ (日)

① 図書館利用者 (学生) 教育の状況 (方法)

本学では特別な利用者教育 (オリエンテーションなど) は行っていない。入学時に配布する「学生の葉」や「図書館利用案内」、ホームページにより利用情報を提供している。

② 職員研修 (スキルアップの方法など) の状況

本部図書館は、国立大学法人の附属図書館経験者が概ね3年間出向して勤務しているため、特別な研修は行っていない。但し、他機関の開催する各種研修や講演会、シンポジウムなどに積極的に参加している。学習センターの図書担当職員 (専任の職員でない。概ね3年で交替) が参加できるように、全国50箇所のセンターを7ブロックに分け、毎年、図書業務実務研修会を実施している。講師は図書館職員が担当している。

③ 図書館における情報セキュリティー対策の状況

情報セキュリティーについては、利用者への啓蒙活動や教育が必要と感じているが、現在行っていない。今後、情報倫理や情報モラルについて教育するためのパンフレットの作成配布を考えている。情報ネットワークにおけるセキュリティー対策は、システムを外注している会社において担当しており、図書館で特別な措置は行っていない。利用者に開放した LAN 端子や無線 LAN も設置していないため、必要性が現在のところない。

④ 他大学との連携状況

本学の学生が、学習センターが設置されている近隣の大学図書館を当該大学の学部学生と同様な扱いで、閲覧、貸出などのサービスを受けられるように協力依頼を行っている。

また、最近では設置大学と共同で建物を建てて、共同利用することも行っている。

⑤ 図書館の広報活動の状況（展示会やイベントなどの開催）

附属図書館が所蔵する貴重な資料をテーマとして、全国各地で毎年5回～6回巡回展示会を開催している。

学生募集の期間に併せて展示会を開催することも多く、広報手段として高い効果を生んでいる。

⑥ 業務の外注の状況（業務内容、予算、職員派遣など）

・目録入力業務

予算：年間約 620 万円

派遣社員 2 名により実施

・土曜日・日曜日の開館、夜間延長開館業務

予算：年間約 326 万円

派遣社員 2 名により実施

※①②は同一会社に委託

UK OU (英)

●図書館セミナー

OU 図書館は情報、教授、学習専門家に関する一連の研究セミナーの企画を行っている。これらのセミナーの目的は様々なトピックの知識の共有を奨励することにある。たとえば、電子学習者サポート、オープンアクセス、相互操作性、デジタル図書館、メタデータ、情報リテラシー、ニューテクノロジーなど。ミルトンキーンズ学習私立図書館ネットワークのメンバーや OU スタッフの参加を歓迎し、今後のセミナーの情報を受け取りたい方は図書館セミナーメールリストに参加することができる。公演者の同意のもと、図書館セミナーを参加者からの質問部分も含めてビデオ録画し、インターネットで利用できるようにしている。

●カンファレンス

図書館ではカンファレンスペーパーのコレクションを閲覧できる。

●ライティングサポート

大学院生の研究者たちが情報資料を効果的に利用できるように図書館がデザインしたウェブサイトを作っている。

・リサーチ・スキル（研究技術）

・インフォメーション・スキル・フォー・リサーチャーズ（研究者の情報技術）

●PhD スキル

ウェブベースのシステムで、OU の研究生が期限内にうまく博士課程を修了できるようにスキルを発達させるのをサポートするシステム。

●研究論文や卒業論文を書く際のサポート

OU の図書館目録では、論文を書いたり準備したりする際の資料に、卒業論文、アカデミックハンドブック、マニュアルなどいう、参照項目がつけられている。

●インターネットを介して利用できる資料

- ・現代語協会文書に基づく研究論文書き方ガイド
- ・論文、卒業論文の書き方と準備（ミシガン大学）
- ・論文の書き方（ニューキャッスル・アポン・タイン大学）

KNOU（韓）

図書館利用者教育

- ・ 図書館から提供するサービス内容について詳細案内と共に学生学習活動に必要な情報を検索し、効率的に活用できるよう支援を行う教育
- ・ 図書館利用者教育用標準教材を製作し中央図書館、地域大学別、市・郡学習館別に利用者教育実施
- ・ 教育内容
 - － 図書館サービス案内および所蔵資料利用方法
 - － 国内学術 DB および他大学図書館資料利用方法
 - － その他図書館から提供するサービス
- ・ 教育時期
 - － 定期教育：論文及び中間試験 1 ヶ月前
 - － 随時教育：学科、サークルグループ（15 名以上）単位が求める教育内容がある場合

2. 問題と課題

OUJ（日）

- ① 本部図書館と学習センター図書室の資料整備
 - ・ SC 図書室の合理化と狭隘化への対応
- ② 電子ジャーナル経費の見直し
 - ・ 教養学部という幅広い分野をカバーするために予算確保
 - ・ 経費負担の増大（毎年 10～15%U p）に伴う購読中止への対応
- ③ 図書システムの更新（2010 年 1 月）
 - ・ 利用者の要望を取り入れた新システムを導入
- ④ 電子化の推進
 - ・ 本学研究年報の電子化の推進
 - ・ 電子ブックサービスの充実（NetLibrary のコンテンツ購入：現在 363 タイトル提供中）
- ⑤ 本学関係資料室（仮称）の設置計画の策定
 - ・ 放送大学に係る資料をはじめ、これまでに発行・蓄積した資料等を収集整理するために本学関係資料室（仮称）の設置を計画中。
- ⑥ 図書館所蔵コレクション（貴重資料等）を活用した展示会の開催
 - ・ 学生募集と知名度向上のための全国展開を継続している。

UK OU (英)

- ① 予算削減をどのように扱っていくか (2013/14年までに20%の削減)
 - ・ 図書館建物内でのサービスを減らし、オンライン図書館へ資料を移行
 - ・ 電子コレクションの見直し
 - ・ 方法工程の見直し
 - ・ サービス計画と費用見直し
 - ・ 核となる仕事への集中
- ② 新しいテクノロジーと学生の経験を向上させるために学生のいる場所に図書館が存在すること
- ③ 学生やスタッフへのサービスという核となる活動に集中し、他の活動への関与を減らすこと。

KNOU (韓)

- ① 図書館空間及び施設不足
 - ・ 遠隔および生涯教育に当てはまるデジタル図書館、関連施設の不足
 - ・ 2010年 ソウル地域キャンパスに新図書館建設予定
 - ・ 2013年 本部図書館建設予定
- ② 図書館中長期発展計画樹立
 - ・ 図書館施設、人員、図書館資料拡充予算、図書館サービス改善など
- ③ 遠距離利用者要求を充足できる方案模索
 - ・ 地域大学および市・郡学習館図書室の活性化方案模索
 - ・ 図書館利用者満足の極大化のための利用性と評価実施

第4部 新たな展開に向けた提言

第4部

第4部 新たな展開に向けた提言

遠隔教育を推進する本学図書館では、本部図書館機能と全国に設置される学習センター図書室機能のメリットを最大限活用した新しいスタイルの学習・教育研究支援ができるシステムを創造することが可能であり、また本学の貴重な情報資産を次世代へ継承する重要な使命を担っている。

今後、図書館として以下のような提案を早期に具現化するために、第二期業務運営計画に基づいた図書館事業を積極的に展開していくこととする。

1. 電子図書館への移行による図書館機能の充実

現段階では、印刷資料と電子的資料のハイブリッドによる効率的な図書館運営を維持しつつ、学生が学習・研究に必要とする情報を、印刷資料と電子的資料の区別なく、スムーズに入手できるシステムを構築する必要がある。

また、今後は、冊子体から電子的手段による情報提供へ可能なものから切り替え、インターネットを通じて、いつでも、どこからでも、誰でもが、必要な情報に迅速的確にアクセスできる環境を提供する必要がある。そのために次の様な基盤整備を行うことが重要である。

- ① 電子図書、電子ジャーナルの充実とアクセス環境の整備
- ② 情報教育（オリエンテーション、OPAC検索実習、各種データベースの利用）の充実
- ③ 電子的手段による図書館サービスの提供
 - ・ TV会議システム、電子メール・チャットなどを利用したレファレンス
 - ・ オンライン申請による文献複写サービス
 - ・ オンライン申請による図書の宅配

1) 図書館機能を拡大する学内統合情報システム（仮称）の構築

電子図書館機能を有効に利用するためには、映像や音声情報まで含めた本学の情報システムを統合的に構築する必要がある。UKOUの図書館がe戦略として掲げているなか、学生が利用できるシステムのアカウントを統一して利用の便を図る計画がある。本学も情報に電子的手段によりアクセスできる環境をどのように構築していくか、特に情報弱者へ配慮した次のようなシステムが求められる。

- ①学内統合情報システム（仮称）の構築
- ②多機能IC学生証のプランニング
- ③生涯メールアドレスの導入
- ④情報規範（情報倫理ポリシー・情報セキュリティポリシーなど）の策定

2) 放送教材のオンデマンド化

放送教材をサーバから提供できるようにすることで、利用の便が著しく図られるだけでなく、毎年度、開設・改訂される科目の教材を配架するための複写や装備に係る経費や事務量が著しく軽減できる。これらの仕組みを構築するためには、著作権の問題等や既に開始されているインターネットによる教材提供との関わりを検討し、実現に向けて試行する必要がある。

2. 新しい管理とサービス

1) 図書の集中管理とデリバリーシステムの構築

図書を本部図書館に集中配架し、本部図書館から利用者へ直接配送する仕組みを構築す

る。この仕組みを構築する上では、本部図書館の収蔵能力のアップと配送システムに係る職員の確保、さらにOPACを容易に使いこなせるための利用者教育の充実が必要である。これにより学習センターの図書を配架しているスペースを新たな利用者スペースとして転用することが可能となるばかりでなく、借用面積の縮減により経費節減にも繋がり、トータル的にはコスト削減となる。

2) 図書サービスの集中化

上述の集中管理と合わせて、学習センターで行っている利用者への参考調査サービス、文献複写サービスを本部図書館で集中的に行う。集中化により利用者サービスの低下を招かないよう、職員の確保は勿論のことであるが、学習センターや自宅から誰でも利用できる通信システム（TV会議システムやメールシステムなど）の整備が必要である。

3. 本学関係資料のアーカイブ化

1) 放送教材（電子的資料）のアーカイブ

図書館では利用に供するために、開校以来の全ての放送教材を保存しているが、ビデオテープや音声カセットテープなどは経年変化により画質・音質劣化が生じており、計画的なアーカイブ化が必要である。一方で、永年の保存を目的とした計画により放送教材のアーカイブ化が進められているので、保存と利用の役割分担を確保しながら経済的且つ効率的なアーカイブ化を進めていく必要がある。

2) 印刷教材、概要、年史、各種報告書、パンフレット、リーフレットなど（印刷媒体）のアーカイブ

UKOUは創立40年を迎え、大学の教材は歴史的な重要な資料と位置づけそのアーカイブ化に力を入れている。本学においても旧メディアの情報資料室を活用して「本学関係資料室」（仮称）を設置したところであるが、膨大な資料の整理やこの室の運用を軌道に乗せることが重要である。

今後、資料探索や整理業務を円滑に行うために画像を含めたデータベース化が必要である。また、資料形態の変遷などにも考慮した実物保存も考慮する必要がある。資料整理に際しては、UKOUのように専門の職員を置くことが望まれるが、外注により専門的に資料整理を進めることも考えられる。

4. 図書館としての国際化への対応

近年、国際会議への出席や海外からの研究者等の来校が著しく増加しており、図書館では海外で収集した資料や交流協定などにより交換している教材、あるいは海外からの来訪者からの寄贈品等を集中管理、閲覧、展示するためのコーナーを設置した。今後、教員、各課の協力を得てこのコーナーを充実させ、海外の情報が迅速的確に入手できる場所として運用する必要がある。

その他、図書館概要やパンフレットなどの英文化（日本語版への併記）をはじめAAOUの国際会議が日本で開催される場合には、図書館としても世界的に貴重な資料を展示するとともに、全国展開している図書館機能を積極的にアピールしていくこととする。

第 5 部 參考資料

第5部

第5部 参考資料

オープンユニバーシティ

第三者コンテンツ（OU 独自のでない）のための図書館サービス所蔵図書戦略 2009-2013

管理者要約

この戦略は OU 図書館所蔵図書の将来についての展望と履行戦略を設定するものである。その範囲はオンライン、印刷図書を含むがアーカイブ、教材、研究出版物、論文、研究データや印刷寄贈などすでに方針が決まっているものは含まない。この戦略は OU と図書館戦略の枠内で設定される。図書館文書や統計が示すもの、株主からの聞き取り、図書館評価、報告書やオンライン討論フォーラムの再検討がこの戦略の指針となる。

デジラボに関しては別の方針が打ち出されている。

この戦略の究極の目的は学部のスタッフたちと共に仕事をしていく中で全ての資料を電子アクセスの方向に持って行くことである。登録している OU 学生、スタッフ、研究者という顧客層は戦略を導く需要をもつ核となるグループである。他の顧客層もまた図書館所蔵図書から利益を得ているグループとして特定される。

学部と図書館スタッフの協力によって学部プロフィールを集めることがまず重要な第一歩と考えられる。重要な資料への継続的なアクセスを確かにする一方で、金額に見合う価値を得ることも重要である。所蔵図書を効果的に強化することもまた重要である。提案、リスク分析、そして今後 5 年間の履行計画の概略を述べる。

目次

1. 所蔵図書戦略の目的
2. 戦略的内容
3. 展望の要約
4. 提案

1. 所蔵図書戦略の目的

- ・ OU 図書館所蔵図書への展望と提案を提供すること。（アーカイブや教材は除外する）
- ・ 提案を行い、今後 5 年間にわたって展望を達成するための履行計画を設定すること。

2. 戦略的内容

2-1. 大学の戦略的目標をサポートすること。特に以下の点において：

- ・ 全ての人への公正なアクセスの促進
- ・ 教育的技術における先駆的役割と革新
- ・ 更なるグローバル展開の拡大
- ・ 研究活動への集中
- ・ コストと質の高いリーダーシップの保証

2-2. OUの将来の中に見出される現在のトレンドを考慮に入れること。特に以下の点において：

- ・グローバリゼーション
- ・テクノロジー

2-3. 変わりゆく大学のビジネスモデルとマーケット環境の中で大学をサポートする準備を整える。

2-4. OUの核となる価値に沿う。特に以下の点を強調して：

- ・学生を中心としたアプローチを業務に取り入れる
- ・柔軟な学習方法を提供する
- ・国際機関として
- ・研究と学問が私たちのミッションに不可欠であると信じる
- ・学習し続ける組織として

2-5. 以下によって各ユニットの目的（2008-2010 戦略声明による）をサポートする。

・図書館の所蔵図書が国際的に認知された最先端のサービスをコストエフェクティブな方法で提供することに貢献することを保証する。

・ユニットの戦略で優先順位の高いもののサポートを可能にする。（電子学習の提供、研究、利用者中心の資料とサービス、今後のOU戦略をサポート）

・他の図書館戦略計画を統合し告知する。以下を含む

2008システム戦略、2008-09図書館サービスマーケティング戦略、

2007準講師サポート戦略、寄付指針

学習者サポート戦略、研究戦略

OU教材、アーカイブ戦略、OUリサーチオンライン戦略、デジタル図書館戦略

目録戦略も告知される予定

3. 展望の要約

図書館は以下の所蔵図書へのアクセスを提供する予定。

・可能な限りの場所で電子的な方法を介した提供を強調する一方で、適切なフォーマットで、適切なプラットフォームで提供する。

・図書の統一性に妥協しないよう注意する一方で、適切な部分では技術的な発展を利用する。

・OUの教授学習計画をサポートする。

・図書館の核となる顧客層のニーズに沿う。（現在登録しているOUの学生、コースチームと学部の教授スタッフ、準講師、研究者と研究サポートスタッフ）

・パートナー図書館と相互的な関係を管理するのに貢献する。

・個々の学部の要求に対応でき、継続的に学部のスタッフとの連携の中で図書館スタッフが見直しできる。

・支払った金額の最大限を引き出すようなソースのしかたと維持管理。

・法的に安全。

・質が高い。

・キーソースへのアクセスを保護する。

4. 提案

4-1. 資料の提供：フォーマットとプラットフォーム

提案1：ほとんどの所蔵物を電子アクセスへと移行

図書館は第一のフォーマットとして電子アクセスの方へと移行していくべきである。短期的には、主に電子ジャーナルのアクセスへと移行し、実行されていかなければならない。長期的には主に電子図書への移行の可能性を探らなければならない。図書館の電子購読を再検討する過程もこれに含まれてくる。

提案2：印刷図書を廃棄する計画の発展

図書館は電子的に可能なものと二重になる印刷コレクションを廃棄する計画を進展させなければならない。

4-2. 所蔵図書が核となる顧客層の要求に合っていることを確認

提案3：顧客にフォーカス

以下の核となる顧客層のニーズにあった図書にフォーカスする。この顧客層は現在登録しているOU学生、教授スタッフ、準講師、研究スタッフ。

他の顧客層もこれらの図書を利用できるようにすべきであり、これはライセンス制限や特別に取り決められた合意による。

提案4：所蔵図書開発と管理に関する現在のモデルの再検討

学部が管理する現在のアプローチから図書館主導の図書開発管理へのアプローチへと移行することが適切かどうかを評価する。

提案5：電子ジャーナル購読をニーズによりよく沿ったものにする

ニーズにこたえるために必需品調達への新しいモデルの履行を模索する。

提案6：学部プロフィールを発展させる

図書館の学習教授司書は、図書館サービス利用者グループのメンバーの指導の元、学部プロフィールを発展させるためにそれぞれの分野から任命された学部代表と共に働く。

学部プロフィールはそれぞれの学部の教授と研究の重要な分野をはっきりと特定する。学部プロフィールは核となる顧客層の異なるニーズによって細分される必要がある。学部プロフィールは図書館の所蔵図書のコンテンツを報知するのに利用され、特に電子資料の強調の方向への移行の周知に利用される。アーカイブに関する問題もこのプロフィールのうちに述べられる。

この過程の一部として学部プロフィールは特定化された戦略的研究分野の卓越性をサポートするための特に強力な所蔵図書の更なる発展と維持への必要性を認知する必要がある。

提案7：電子アクセスへの更なる移行を維持するための学部プロフィールの利用

一度学部プロフィールが決定され、アーカイブへのアクセス方法が確立されれば、所蔵図書をそのプロフィールの線に沿うようにもって行くことで作業が開始される。これはまた資料を印刷物からどこでも可能な電子アクセスへと移行する機会を提供することになる。

指導的な学部が指し示される必要がある。図書館の学習教授司書はその過程を導くべきであり、図書館スタッフ配置に関する資料は一時的にその過程へとそらされる必要がある。学習教授司書は学部のスタッフと協力して働くことになる。

提案 8：他の図書館との相互的協力関係の合意を維持する

SCONUL アクセスと MKLCLN のメンバーシップを維持し続ける。ORO 書庫の建設と開発を続ける。相互的顧客への磁石のような役割を果たすかもしれない OU の重要な研究分野に戦略的に関連の強い研究図書を強化する。

4-3. 安価で最高の価値を提供する一方で質の高いコンテンツを提供する

提案 9：重要なジャーナルのバックナンバーへのアクセスの保護を保証する

図書プロファイルの発展にしたがって、より多くの作業をバックアップシステムのアーカイブ化の費用便益へと持ち込んでいく。

BL のセキュリティ電子デリバリーサービスをテストする。

この観点から他の図書館の活動をモニタリングする。

提案 10：オープンアクセス資料を統合する

図書館と学部は OU の研究書庫を継続的に積み上げると同時にオープンアクセス資料の利用可能性をモニタリングし続けるべきである。

提案 11：他の図書館に対する継続的評価の過程の履行

UK の図書館を特定し、そこからさらに彼らの図書戦略の中での電子資料を強調する。評価過程を設定し、同業者から学び、リスクを最小限にする一方で、OU 図書館が電子のみのアクセスへと移行することに関する先駆的なグループにいることを確かにする。

提案 12：OU 独自のコンテンツに関する戦略とこの第三者コンテンツ戦略を統合することを考える。

●英国のチューター制度

- 準講師 Associate Lecturer（以下チューター）はOUの学生を個人指導するスタッフの正式な役職名である。
- チューターは以下の方法で学生の学習をサポートする。
 - ・ 教授と課題（オンラインと郵便）
 - ・ Email、電話、郵便といった個別のコンタクト
 - ・ グループチュートリアルとデイスクール（対面またはオンライン）

チューターは通常13ある地域センターによって雇われ、サポートを受ける。全ての新しいチューターはその役職においてのサポートを受ける。初年度は助言役が各チューターに割り振られ、役職とコースについての手ほどきを受ける。

- チューターの仕事内容
 - ・ 学生と連絡をとりながらの教授、与えられた採点基準に沿っての課題の採点、学生の学習をサポートするための学生へのフィードバック。
 - ・ 面会、電話、電子教授方法を利用した学術的サポートを提供。
 - ・ コースにおける学生の学習進度を観察し、課題を提出しない学生と連絡をとったり、送られて提出された課題を適切などころでは認めたりする。
 - ・ コース、学習に関するアドバイスやサポートの第一の連絡役になり、学習グループを適切などころでうまく機能するようにし、他の問題や質問に関して学生サービスや地域の学部スタッフに伝えたりする。
 - ・ 学生をコースに歓迎して全ての学生と連絡を取り、新しい学生にはサポートされたオープン学習というOUの方法への導入を提供する。
 - ・ コースとの連携の上で学習技術の発展の手助けをする。
 - ・ 最初の課題や試験サポートといったコースの決定的なポイントで先を見越した連絡を学生ととる。
 - ・ 更なるサポートが必要な個々の学生の要求を特定し、学生サービスに必要な情報やアドバイスを得られるよう紹介する、または地域の学部スタッフにフォローアップをお願いする。
 - ・ 学生の学習経験について、さまざまな機能を利用してフィードバックを提供する。（調査への反応、報告会への出席など）
 - ・ 職業的な経験を維持強化し、個人の開発にコミットするためにスタッフ開発活動に参加する。
 - ・ 学生の教授とサポートのために適切などときにはICTを利用する。学生との関係における業務を遂行するために情報にアクセスし、学術的な連絡を円滑にし、またOUの事務や広報と連絡をとりあうなど。
- チューターの応募資格
 - ・ 該当地域での労働許可書がある。
 - ・ 基本的に退職は65歳。
 - ・ 適正な人格を持っている。

- その他は募集コースによって異なる。（ざっと個別のコースの募集要項を見たところ必ずしも教職や大学院以上の学位を持っている必要があるわけではないよう。むしろコースと関連した経験などの記述が目立つ。）

例) English Communication Skills for Global Managers

- 第一学位が該当コースと関係のある分野である。（ビジネス、言語学など）
- 適切な教職免許を持っている。（DELTA, MATEFL, PGCE やそれと同等のもの）
- 該当コースと関係性のある大学院レベルの学位（ビジネススタディや TEFL, TESOL）
- ビジネス界で最近働いた経験があること。
- ビジネスイングリッシュ、学術目的の英語。特別な目的の英語、スタディスキルや一般 ELT を教えた経験がある。
- 遠隔学習を通して学部もしくは大学院レベルで大人を教えた経験がある。
- オンライン活動において、世界中からの様々な人たちのグループの活動を円滑に進めるサポート能力がある。
- 該当コースのための PC ウェブサイトのスペックに対応したコンピュータへのアクセスがある。

- 福利厚生などについて

ひとつのコースにつき、チューターは3週間までのまとまった無給休暇をとることができる。ウィークデー、週末を含む実質的自由な時間に仕事をするのを許される。無料の視力検査を受けることができる。MK の近くに住んでいるチューターは図書館の貸し出しサービスなどを利用できる。大学の退職年金スキームに入ることができる。

- 給与体系

チューターの給与体系はコースごとに決められているが、3段階のスケールに分かれている。初年から2年間は試用期間でその間はポイント1という給与幅が適用される。ポイント1期間を遂行するとポイント2に進める。ポイント3に進むには試用期間を得て、OUでの経験を積むことで、60単位の9ヶ月コースを5回教授したあとが典型的である。

以下の表は給与幅の区分が与えられており、この額がコースの長さの月数で割られて一ヶ月ごとに銀行口座に直接振り込まれる。たとえば Making Social Worlds コースの場合バンド7に区分されており、このコースは9ヶ月コースのため、 $3535 \div 9 = 392.77$ ポンドずつ毎月振り込まれることになる。

Band	Point 1	Point 2	Point 3
1	£1,069	£1,101	£1,134
2	£1,480	£1,524	£1,570
3	£1,891	£1,947	£2,006
4	£2,302	£2,371	£2,442
5	£2,713	£2,794	£2,878
6	£3,124	£3,217	£3,314
7	£3,535	£3,641	£3,750
8	£3,946	£4,064	£4,186
9	£4,357	£4,487	£4,622
10	£4,768	£4,911	£5,058
11	£5,179	£5,334	£5,494
12	£5,590	£5,758	£5,930
13	£6,001	£6,181	£6,367

以上は2008年10月の改定による。

- 採用面接

応募用紙に記入して応募。締切日が過ぎるとすぐに候補者リストが絞り込まれ、該当者にのみ面接についての連絡がある。面接官は通常二人のOUスタッフからなり、その後面接結果が伝えられる。もし適切と判断され、十分な学生数がある場合は契約書がコース開始の約1ヶ月前に送られる。

チューターの任命は地域センター長によって面接官との協議の上決定され、2年間の試用期間を受けなければならない。チューターの任期はコースが続く限りで、通常8年ほどである。

- 韓国のチューター制度

チューター制度

遠隔教育では自主学習の計画を立てなければなりません。多くの学生が個々の学業暦、学習法、試験、課題、論文執筆について助言を求めます。チューターは特別アシスタントとして遠隔教育で困難にぶつかった学生を支援します。チューターは、地域別チューターと学科別チューターの2通りに分かれます。

- 地域別チューター

12の地域キャンパス（ソウルを除く）の地域別チューターは学生と直接会って、主として人文系の科目についての助言やカウンセリングを行います。

- 開設科目についての助言や質問に答えます。
- 遠隔教育の学習法について助言や質問に答えます。
- 課題のやり方や論文の書き方について助言します。
- 試験のための勉強法について助言します。
- 様々な遠隔教育のためのメディアの使用法について助言やカウンセリングを行います。

- 学科別チューター

各学科のチューターは大学生活や専攻について助言を行います。これはブレンデッド形式もしくはサイバー形式で行われます。

- サイバー・チューター

インターネット講義で単位取得を目指す学生のために、開講科目について助言を行います。

- 講義についてカウンセリングを行います。
- 毎週学生の学習状況をチェックし、学習に参加するようにメールを送ります。
- 科目ごとに参考資料センターを立ち上げ、学生に様々な教材を提供します。

- 韓国のメンター制度

メンター制度

メンター制度は学生支援プログラムで、メンター（KNOUの上級生）が、オンラインおよびオフラインで接触し、これまでの学習経験に基づいて、大学について説明し、新入生や編入生を支援します。

- メンターの役割

- 学習法やスキルを分かち合う
- 大学の主要なことや学生支援サービスの利用について教える
- 各学科のカリキュラムの基本的なことを理解できるように助ける

調査写真

UKOU

United Kingdom Open University

KNOU

Korean National Open University

OUJ

Open University of Japan



大学入口のモニュメント



図書館



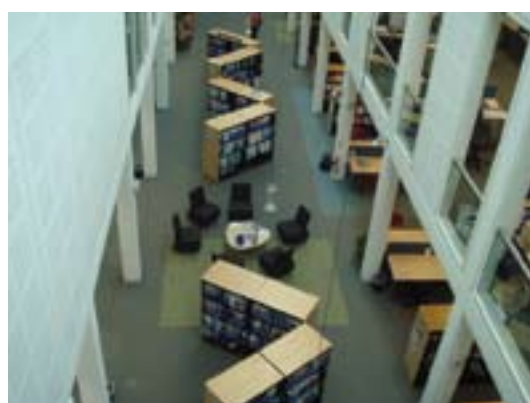
レクチャー室にて
(中央: Nicky Whitsed 館長、右: 松村館長)



図書館入口ゲート



図書館カウンター
(ガラス窓奥は事務室)



図書館吹き抜け



閲覧コーナー



パッケージ化された教材



ラウンジ



教材視聴機器



自動貸出返却装置



過去の教材の付録
(顕微鏡)



デジラボ内の各社携帯電話
(開発したサービス画面の確認用)



様々な電子ブック



ロンドン地域センター



ゼミ室等



事務室



受付カウンター



ラウンジ



配架前の新しい教材



中央図書館入口



中央図書館総合案内



中央図書館カウンター



中央図書館 (1階)



中央図書館端末室(放送授業視聴室)



中央図書館閲覧席



中央図書館でのプレゼンテーション



中央図書館入口にて



京畿地域大学図書館



託児室（京畿地域大学図書館）



城南学習センター図書室



城南学習センター図書室



学習センター端末室(放送授業視聴室)



放送教材の編集室 (製作棟)



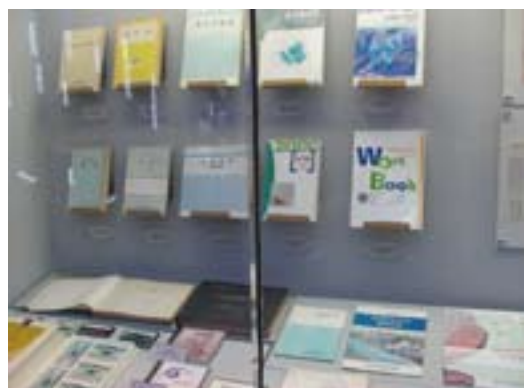
撮影スタジオ (製作棟)



歴史館正面



歴史館エントランス



教科書の展示 (歴史館)



大学全景（千葉市幕張）



本部（送信タワー）



本部図書館正面



入口カウンター



閲覧室



視聴ブース



印刷教材（テキスト）



放送教材



スタジオ副調整室



学習センター（千葉）
（全国に50箇所）



サテライトスペース（広島）
（全国に7箇所）

訪問先地図



Google マップ地図検索より

調査対象機関

(イギリス)

英国オープンユニバーシティ図書館及び本部

Walton Hall Milton Keynes United Kingdom MK7 6AA

ロンドン地域センター

1-11 Hawley Crescent, Camden Town, London United Kingdom, NW1 8NP

Milton Keynes Library

555 Silbury Boulevard, Milton Keynes, MK9 3HL

Kensington Central Reference Library

Phillimore Walk London W8 7RX

(韓国)

韓国放送通信大学図書館及び本部

169 Dongsung-dong, Jongno-Gu, Seoul

京畿地域大学

399 Omokchoen-dong, Kyon seon-gu, Suwon-si, Kyunggi-do, Korea

城南市学習センター

23-2 Gumi-dong, Bundang-gu, Seongnam-si, Korea

謝辞

この調査研究を支援していただいた放送大学長をはじめとする教職員の皆様、この調査に協力頂いた UKOU 図書館長、広報担当者及び図書館職員の皆様、KNOU 図書館長と図書館職員の皆様、そしてコーディネータとしてご尽力くださった鈴木佑子さんと張嬉卿さんに心より 御礼申し上げます。

編集・著作 松村祥子 (附属図書館長)
Sachiko Matsumura (Director)
三浦正克 (図書情報課長)
Masakatsu Miura (Deputy Director)
山本淳一 (図書情報課長補佐)
Junichi Yamamoto (Assistant Manager)

報告書発行 2010年3月



2-11, Wakaba, Mihama-ku, Chiba, 261-8586 JAPAN